

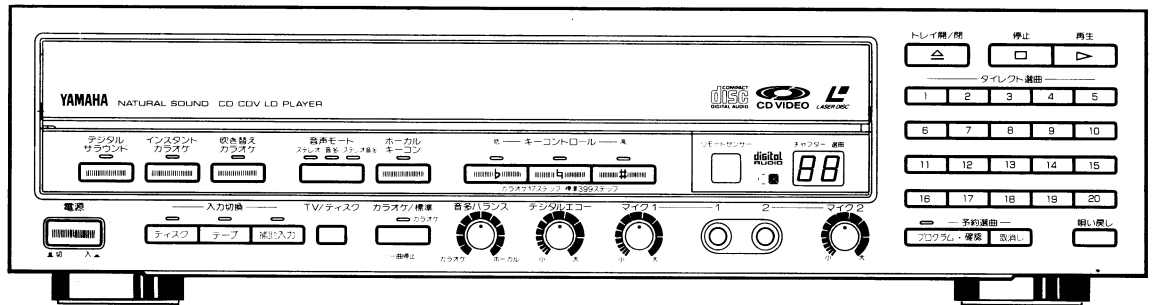
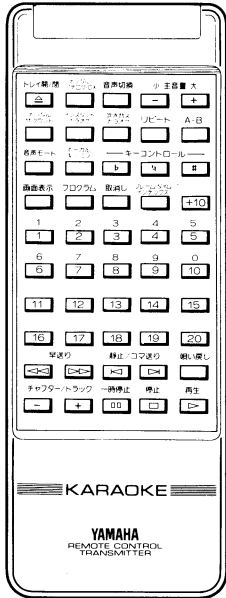
YAMAHA

NATURAL SOUND CD CDV LD PLAYER

CDV-1800K/CDV-50HK

取扱説明書

NTSC



このたびはヤマハCD CDV LDカラオケプレーヤーCDV-1800K/CDV-50HKをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDV-1800K/CDV-50HKの優れた性能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

また、この取扱説明書は読みになったあとも、保証書とともに大切に保管してください。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。

保証書に販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分にご注意ください。

本機は、一般家庭用機器として作られたものです。従いまして、一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業使用、車両や船舶への搭載使用等）でのご使用はさけてください。
一般家庭用以外で本機を使用中、万一本機の不具合から生じた有形・無形の損失の保証については、ご容赦ください。

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償・無償を問わず）することは法律により禁じられています。

ご使用の前に必ずお読みください。

目次

特長	2
豊かなAVライフのために	2
付属品を確認してください	3
リモコンについて	3
ディスクについて	4
リアパネル各部の名称と働き	7
接続のしかた	8
フロントパネルとリモコン各部の名称と働き	12
カラオケのしかた	15
カラオケに便利な機能について	18
カラオケ予約選曲（プログラム）	18
吹き替えカラオケ	19
インスタントカラオケ	19
唄い戻し	19
キーコントロール	19
ボーカルキーコン	19
リピート演奏	20
デジタルサラウンド	20
外部機器の演奏のしかた	20
標準再生のしかた	21
早送り・早戻しについて	22
一時停止するには	22
再生を止めるには	22
再生を終えるときは	22
音声や画面表示の切り換えについて	23
画面表示の切換について	23
デジタル/アナログ音声切換について	24
音声切換について	24
ディスクの途中から再生するには	25
チャプター/トラックスキップ	25
ダイレクト選曲（チャプター/トラックサーチ）	25
フレームナンバーサーチ	26
タイムナンバーサーチ	26
タイムサーチ	27
インデックスサーチ	28
繰り返して再生するには（リピート）	29
演奏順を変えて再生するには（プログラム）	30
静止画/コマ送り再生のしかた	31
故障かなと思ったら	32
参考仕様	34
ヤマハホットラインサービスネットワーク	35

特長

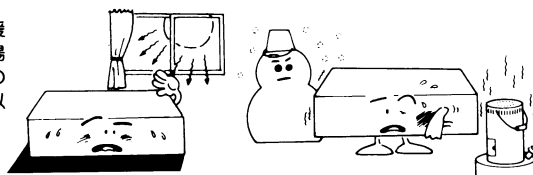
- CD CDV LDフルコンパチブルプレーヤー
- 20曲のダイレクト選曲機能
- 最大15曲のプログラム予約演奏
- キーコントロール（カラオケ：17段階、標準399段階）
- デジタルエコー
- ステレオ音多機能
- 唄い戻し機能
- 音多バランスボリューム
- 吹き替えカラオケ機能
- インスタントカラオケ機能
- ボーカルキーコン機能
- デジタルサラウンド機能
- カラオケ／標準モード（便利な一曲停止機能）
- テープ入・出力端子と補助入力端子
- 48キーリモコン（CDV-50HKは50キーリモコン）
- リモコンに主音量調整キー（CDV-50HKのみ）

豊かなAVライフのために

（使用上のご注意）

高温・低温はさけて！

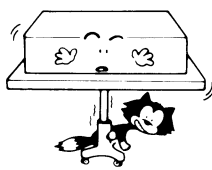
窓際や直射日光の当たる場所暖房器具のそばなど極端に暑い場所（周囲温度35℃以上）・温度の特に低い場所（周囲温度5℃以下）は、さけてください。



結露現象について

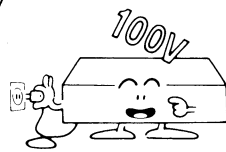
本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に霧が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れてから1～2時間程度放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

不安定な場所をさけて！

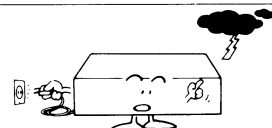


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V

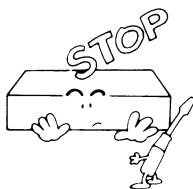


雷が近づいたら



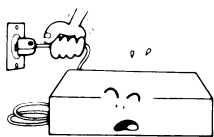
早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。このときアンテナ線には絶対に触れないでください。

開けないで！



内部に手を入れると危険です。ケースは開けないでください。

引っぱらないで！



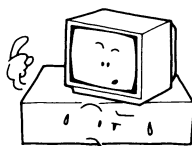
電源コード・ピンコードを抜くときは、コードを引っぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。

ほこり・水気をさけて！



ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。

上にのせないでください！



こわれた？



「故障かなと思ったら」をご覧ください。

薬物厳禁



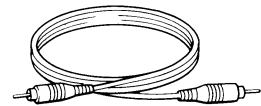
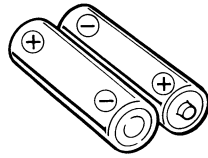
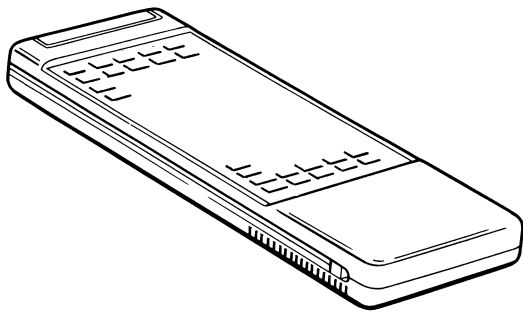
ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。

付属品を確認してください

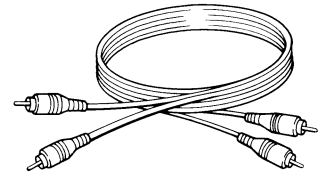
リモコンユニット

単3乾電池(SUM-3)2本

映像ケーブル(1P)



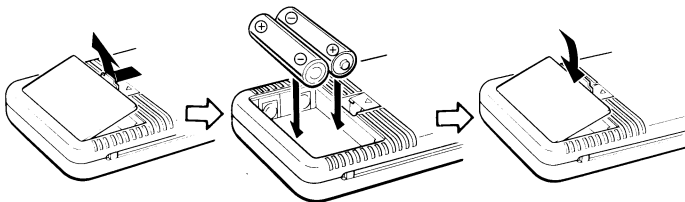
音声ケーブル(2P)



リモコンについて

●電池の入れかた

- ① リモコンの裏のふたをはずします。
- ② 単3型(SUM-3)乾電池2個をプラス(+)、マイナス(-)を正しく入れます。
- ③ 電池をセットしましたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



●電池交換の時期は?

リモコン操作のできる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

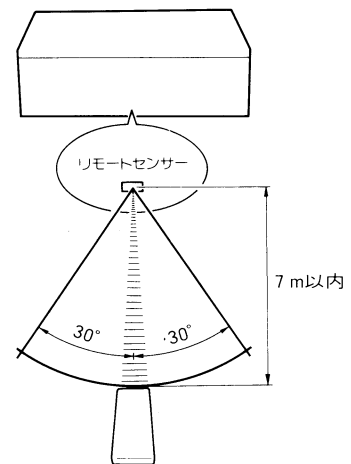
■乾電池についてのご注意

- 単3乾電池をご使用ください。
- プラス(+)とマイナス(-)の向きを、リモコンのケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

リモコン信号は直進性の高い赤外線を使っています。リモコンと本体受光窓の間をさえぎらないようにご注意ください。

またディスプレイが開いているときは、リモコンの操作位置にご注意ください。

●リモコンの使用範囲は



付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作を起こすことがあります。リモコンによって誤動作をする機器があるときは、その機器の受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください

お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

リモコンセンサーに直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

ディスクについて

本機で再生できるディスクは下表の通りです。

●ディスクマークはディスクのジャケットや解説書に記載されています。

マーク	ディスク	サイズ	記録面	音声記録方式	映像記録方式	サーチの種類	その他
	 CDシングル	8cm	片面	デジタル (最長20分)		トラックサーチ タイムサーチ	TOC(*1)
	CD (コンパクトディスク)	12cm	片面	デジタル (最長70分)		トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC INDEX(*2)
	CDV (コンパクトディスクビデオ)	12cm	片面	デジタル (最長20分)	CLV(*3) (最長5分)	トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC INDEX
	CDV-LD (CDフォーマット レーザービジョン ディスク)	20cm または 30cm	両面 または 片面	デジタル および アナログ	CAV(*4) または CLV	チャプター/トラックサーチ トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ フレームNOサーチ(CAV) タイムNOサーチ(CLV)	TOC INDEX
	LD (レーザービジョン ディスク)	20cm または 30cm	両面 または 片面	デジタル および アナログ または アナログのみ	CAV または CLV	チャプターサーチ フレームNOサーチ(CAV) タイムNOサーチ(CLV)	



LASER DISC 本機の再生するLD(レーザーディスク)はこのマークがあるディスクに限ります。このマークはレーザービジョンディスクの統一マークです。CED方式およびVHD方式のビデオディスクは使用できません。

本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。他のテレビ方式(PAL, SECAM)の表示のあるディスクおよびテレビは使用できません。

■TOCについて(*1)

CD, CDVは、ディスクの最初の部分にTOC(テーブルオブコンテンツ)と呼ばれる部分があります。これは本などにおける目次と同様のもので、そのディスクに納められている内容(トラック数や演奏時間など)が記録されています。

■INDEXについて(*2)

CD, CDVのなかには、クラシック音楽など、一つの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスと呼ばれるナンバーをつけているものがあります。そのようなディスクは、インデックスから再生をスタートさせることができます。再生の前にディスクの説明書をお確かめください。

■映像の記録方式について

●標準ディスク/CAV(*4)

CAV(Constant Angular Velocity)ディスクともいい、ディスクの内周から外周にかけて一定速度で信号が記録されています。30cmディスクの場合、片面には最大30分まで、フレーム(画面)数にして54,000枚まで記録されています。

標準ディスクはすべてのフレーム(画面)に番号がつけられており、トリックプレイ(静止/コマ送り)、オートピクチャーストップができます。また、チャプターサーチ、各種リピート再生なども可能です。

●長時間ディスク/CLV(*3)

CLV(Constant Linear Velocity)ディスクともいい、ディスクの内周と外周では、記録速度が一定になるように、回転数が変化します。(内周:1800回転/分~外周:600回転/分)30cmディスクの場合、片面には最大60分まで記録できます。

トリックプレイはできませんがチャプターサーチ、タイムサーチ、リピート再生が可能です。

■デジタル音声つきレーザービジョン・マルチオーディオディスクについて

デジタル音声つきレーザービジョン・マルチオーディオディスクには **Digital MULTI AUDIO** マークが記載されています。

ディスク \ 音声	デジタル音声	アナログ音声
デジタル音声付き カラオケマルチオーディオ (音声多重)	1 / 左チャンネル: ステレオカラオケ 2 / 右チャンネル: ステレオカラオケ	1 / 左チャンネル: カラオケ(モノラル) 2 / 右チャンネル: 演奏+ボーカル(モノラル)
映画、アニメなど	サウンドトラック (音楽)	本編の音声 (作品の音声)
デュアルミュージック	ミュージック2	ミュージック1
バイリンガル (二ヶ国語)	英語などの外国語	日本語
トライリンガル (三ヶ国語)	1 / 左チャンネル: 英語などの外国語 2 / 右チャンネル: (ドイツ語)第2外国語	日本語
クワドリリングル (四ヶ国語)	1 / 左チャンネル: (ドイツ語)第3外国語 2 / 右チャンネル: (フランス語)第4外国語	1 / 左チャンネル: 日本語 2 / 右チャンネル: 英語などの外国語

■カラオケ用ディスクの音声について

カラオケ用のソフトはディスクの種類により記録されている音声方式が異なります。

ディスク \ 音声	デジタル音声	アナログ音声	
デジタル音声多重 カラオケディスク (20cm・30cmCDV,LD)	左 チャンネル	演奏 (ステレオ)	演奏 (モノラル)
	右 チャンネル	演奏 (ステレオ)	ボーカルまたは ボーカル+演奏 (モノラル)
音声多重 カラオケディスク (20cm・30cmCDV,LD)	左 チャンネル	記録されていません	演奏 (モノラル)
	右 チャンネル		ボーカルまたは ボーカル+演奏 (モノラル)
音声多重CD カラオケディスク (12cmCD)	左 チャンネル	演奏 (モノラル)	記録されていません
	右 チャンネル	ボーカルまたは ボーカル+演奏 (モノラル)	

■音声の選択について

デジタル、アナログの両方で音声記録されているディスクは、本機の音声自動選択機能によってどちらの音声を再生するかが自動的に設定されますが、デジタル/アナログ・CXキーを使って選択することもできます。

また本機は、左右チャンネルに異なった内容の演奏が記録されているディスクは、音多バランスつまみ(カラオケモード時のみ)や、リモコンの音声切換キー(ステレオモード時のみ)でどちらを再生するか選択することができます。

詳細は24ページをご参照ください。

音声多重カラオケディスクについてのご注意

音声多重カラオケディスクとはRチャンネルにボーカルまたはボーカル+演奏が記録され、Lチャンネルには演奏が記録されているディスクです。そしてアナログまたはデジタル音声のどちらか一方に音声識別コード(バイリンガルコード)が正規のフォーマットで記録されているディスクです。

●この分類に含まれないディスクでは、音多モード、インスタントカラオケ、吹き替えカラオケなどの機能が正常に働かないことがあります。

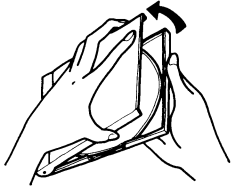
●ボーカルがLチャンネル、演奏がRチャンネルに記録されているなど、上記の分類に入らないディスクでは正常な動作をしないことがあります。

ディスクの取り扱いかた

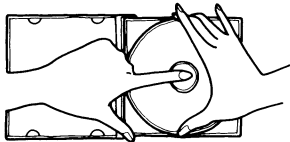
■12cmCDV,CDの取り扱い

●12cmCDV,CDの取り出しかた

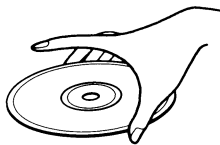
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押え、右手でディスクを持ち上げます。



●12cmCDV,CDの持ちかた



■20cm・30cmビデオディスク(LD,CDV)の取り扱いかた

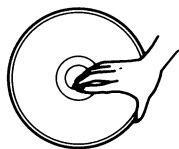
●ディスクの持ちかた

両手で持つ場合

ディスクの両端をはさんで持ちます。

片手で持つ場合

中央の穴と外周部にかけて持ちます。



- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、キズを付けたりしないでください。



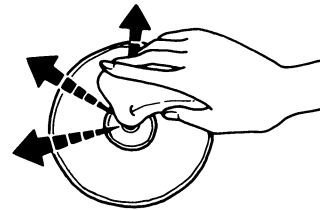
- そりやキズのあるディスクは使わないでください。
ディスクのそりやキズは画質、音質を損ねるばかりでなく、ひどい場合にはセットに損傷を与えたり、寿命を著しく縮めたりすることがありますので、ご使用にならないでください。

■ディスクのお手入れについて

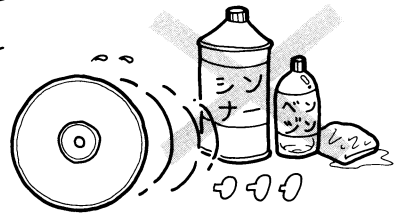
よりよい画質・音質でお楽しみいただくため、ディスク面についてホコリやゴミ、指紋などは、柔らかい布でふきとってからご使用ください。

汚れがひどい場合には、水にひたしてからよくしぼった柔らかい布で汚れをふきとり、乾いた布でからぶきしてください。

- ディスクのクリーニングの際に、ベンジンやレコードクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。



みがくときは放射状に



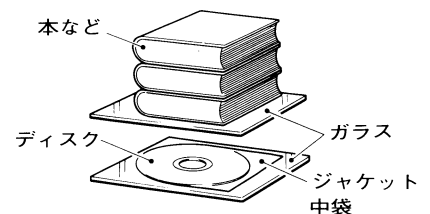
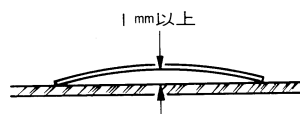
■ディスクの保管について

そりを防ぐために使用後は、ディスクを必ずトレイからとり出してください。とり出したディスクはジャケットに収め、高温・多湿の場所をさけて垂直に保管してください。斜めにしたり、積み重ねて保管しておくとうディスクがそる場合がありますのでご注意ください。また、ディスクについている注意書も必ずお読みください。

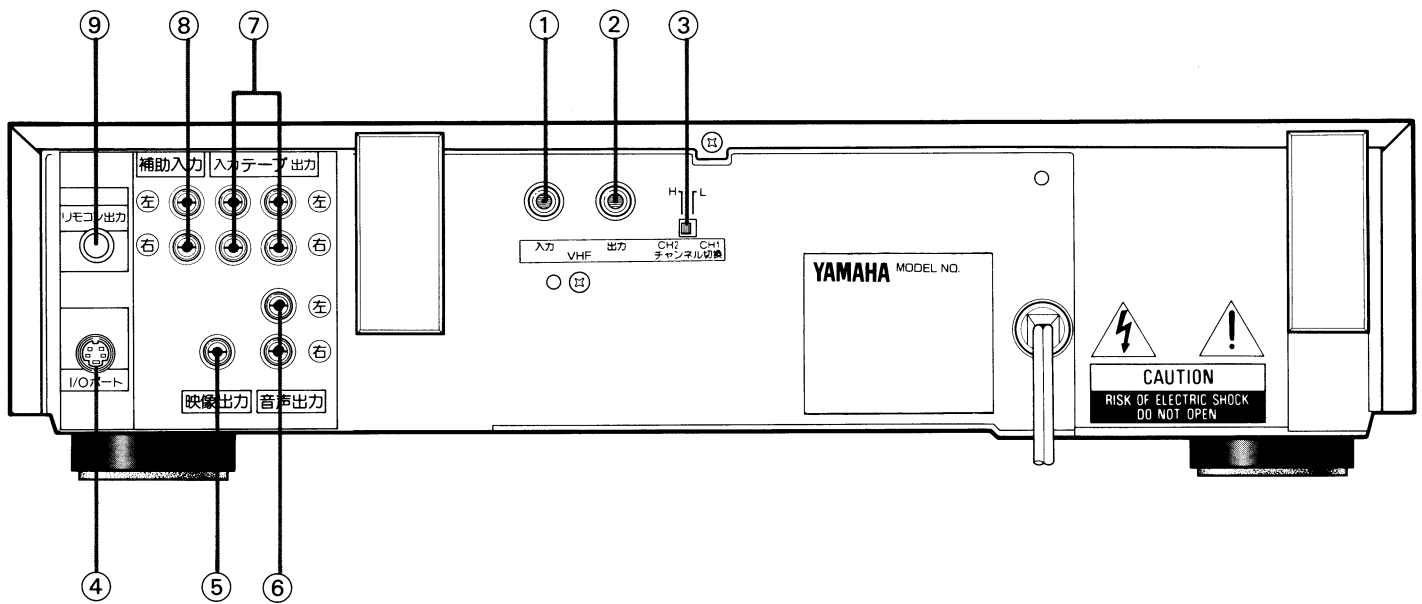
■もしディスクがそったときには

平らな面(ガラス等)の上にディスクを置いて隙間(目安として1mm以上)ができるディスクはそりが大きすぎます。矯正してからご使用ください。

ディスクが変形してしまった場合には、ディスクを中袋に入れてガラスなど平らな面ではさみ、4~5Kgの重しをのせて1日ほどそのままにしてください。そりなどが軽減されることがあります。



リアパネル各部の名称と働き



①入力端子 (VHF)

VHF用テレビアンテナからの放送信号またはVTRを経由したVHF信号を入力する端子です。

②出力端子 (VHF)

再生する映像と音声をVHF信号にして出力する端子です。

RFケーブルを使ってテレビのVHF端子に接続します。

③チャンネル切換スイッチ

VHF出力端子からの出力信号を接続するテレビの空チャンネルに合わせて切り換えるスイッチです。

⑥音声出力端子

音声信号を出力する端子です。

⑦テープ端子 (入力、出力)

お手持ちのカラオケ用テーププレーヤーを演奏するときや、マイクミキシングされた本機の演奏を録音するときには、この端子とつなぎます。

入力端子： テーププレーヤーの出力 (再生) 端子と接続します。

出力端子： テーププレーヤーの入力 (録音) 端子と接続します。

⑧補助入力端子

他のカラオケ機器など、外部の機器をソースとして再生する場合は機器の出力端子をこの端子に接続します。

⑨リモコン出力端子 (CDV-50HKのみ)

システムの全体の音量を本機のリモコンで調整することができます。詳細はアンプの取扱説明書をご参照ください。

接続例AのAV接続をしている場合は①、②、③は使用しません。

④I/Oポート

調整用端子です。ご使用になれません。

⑤映像出力端子

映像信号を出力する端子です。

接続のしかた

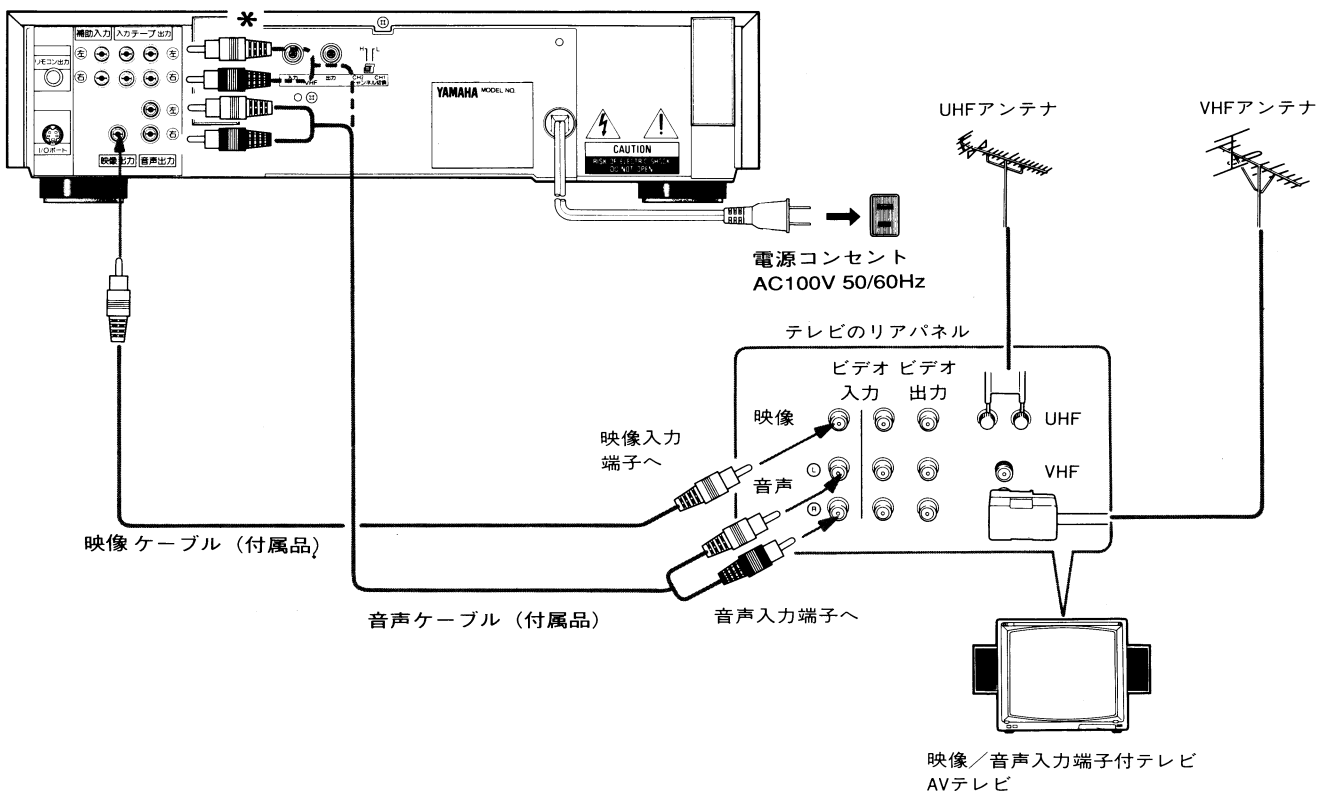
接続の際のご注意

- 電源スイッチ…本機および各機器の電源を切ってから接続してください。
- 接続コード…各機器のL(左チャンネル)・R(右チャンネル)を確認して、正しく確実に接続してください。
- 電源プラグ…接続に誤りがないことを確認してから、必ず家庭用の電源コンセント(AC100V)に差し込んでください。

- ご使用のテレビによって接続の方法が異なります。お手持ちのテレビを確認し、該当する接続例をご参照ください。
- 接続する機器によっては端子名などが異なることがあります。接続の際は各機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。
- 本機をステレオアンプやカラオケ専用アンプと接続しますと、より質の高い迫力ある音声が楽しめます。
- 本機のリアパネルの音声出力左右端子とステレオアンプのLD、CD、AUX(補助)など、どれか一つの入力端子L(左)、R(右)に接続します。このときPHONO(レコード)端子には接続しないでください。

接続例 A : 映像/音声入力端子のあるモニターテレビやAVテレビに接続する場合 (AV接続)

●より質の高い迫力ある音声をとお楽しみいただくために、ステレオアンプまたはカラオケアンプとの接続をお勧めします。



●AV接続時のご注意 (*)

マイクを使うとテレビの画面に妨害が入るときは音声出力端子に接続しているプラグをテープ出力端子に接続しなおしてください。このときマイクの音が歪むときは、テレビの音量を大きくして、本機のマイクの音量を小さくしますと歪にくくなります。

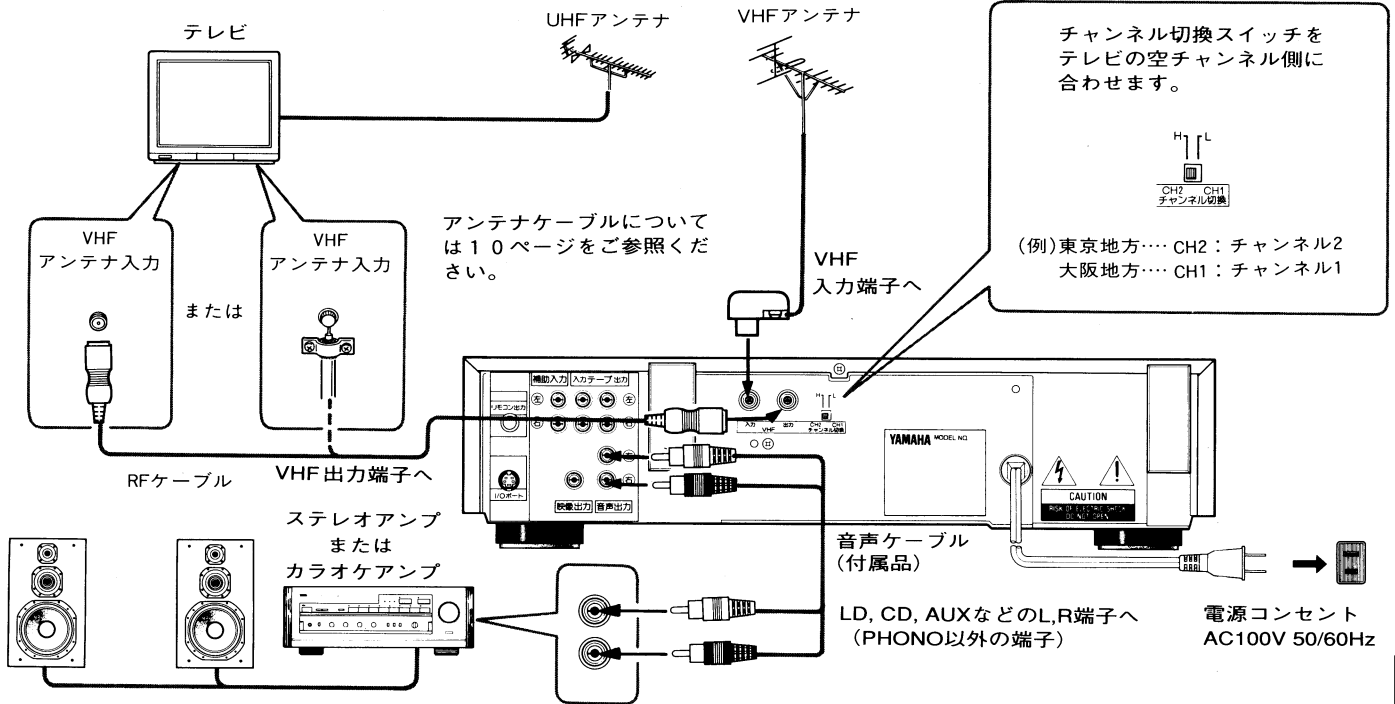
●テーププレーヤーの接続について

左記の接続時は本機の音声出力端子とテーププレーヤーの入力端子を接続してください。その際、発振をふせぐために本機のテープ入力端子とテーププレーヤーの出力端子間の接続は、必ず外してください。

接続例 B: AV入力端子のないテレビに接続する場合 (RF接続)

AV入力端子のないテレビと接続する場合は、テレビのVHFアンテナとテレビの間に本機を接続します。

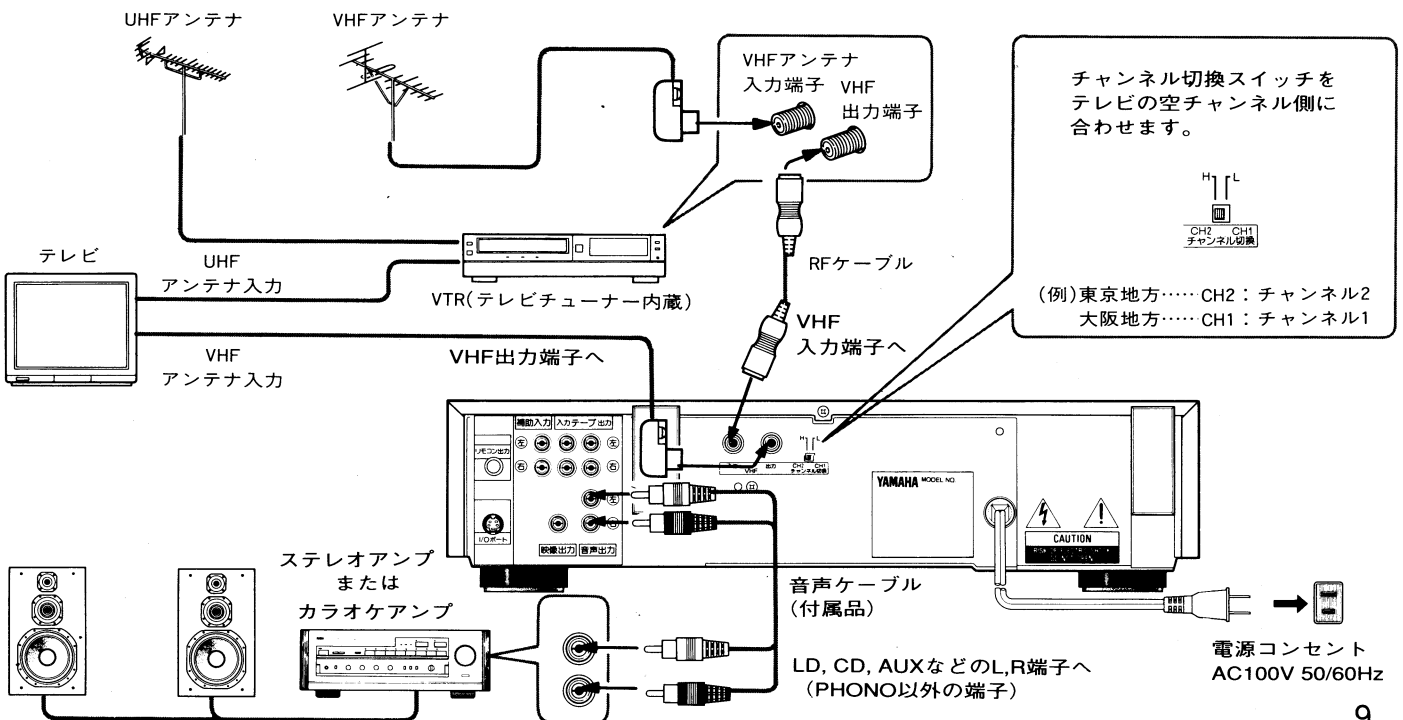
- 本機の映像および音声信号はテレビのVHF電波と同じ方式に変えられ、テレビに送られます。従って現在UHF放送だけを受信されている地域でも、この接続が必要です。
- より質の高い迫力ある音声をお楽しみいただくために、ステレオアンプまたはカラオケアンプとの接続をお勧めします。



接続例 C: AV入力端子のないテレビにすでにVTRを接続している場合 (RF接続)

テレビをすでにVTRと接続しているときは、テレビとVTRの間に本機を接続します。

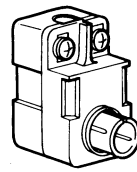
- より質の高い迫力ある音声をお楽しみいただくために、ステレオアンプまたはカラオケアンプとの接続をお勧めします。



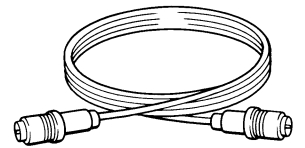
接続のしかた

接続例B、Cの接続をするときは市販のF型プラグアダプターやRFケーブルをご用意ください。

●ご使用になるアダプターやケーブルにより接続方法は異なりますが、加工が必要な場合は下記をご参照ください。



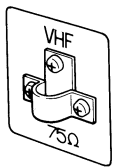
F型プラグ
アダプター



RFケーブル

■RFケーブルの加工のしかた

●テレビのVHFアンテナの入力端子がF型ターミナルでない場合は、RFケーブルの一端を加工してから接続します。



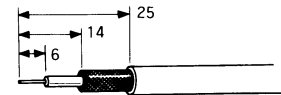
F型ターミナルでない場合
下記の要領でRFケーブル
を加工してください。



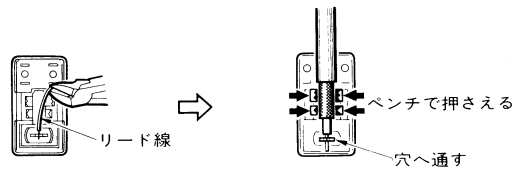
F型ターミナルの場合
この場合はRFケーブルを
加工する必要はありません。

②同軸ケーブルの先端を切断してから加工します。

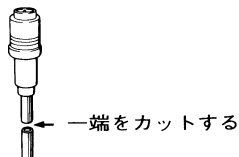
単位：mm



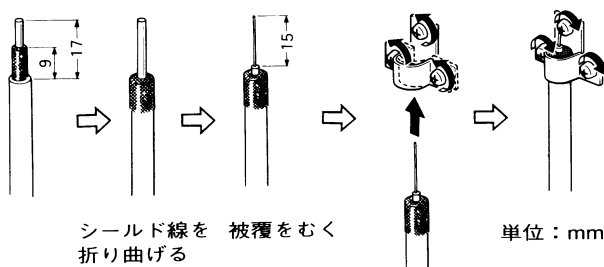
③赤いリード線を切って取り除き、同軸ケーブルを図のように穴に通し、ペンチで押さえます。



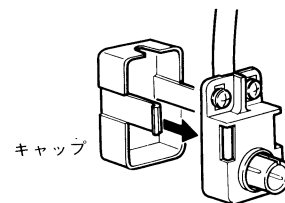
①必要であればRFケーブルの片方のプラグ側を切断します。



②ケーブルの先端を加工してテレビに取り付けます。

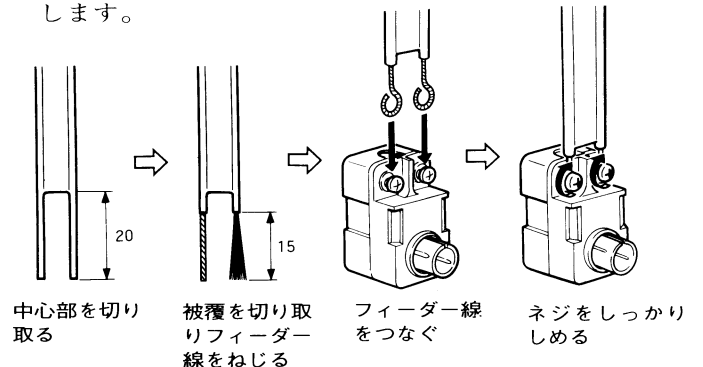


④キャップの先端部を入れ、次に後部を押し込みます。



●アンテナケーブルが平衡フィーダーの場合

①F型プラグアダプターのネジに平衡フィーダーを接続します。

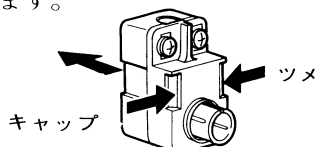


■F型プラグアダプターの使いかた

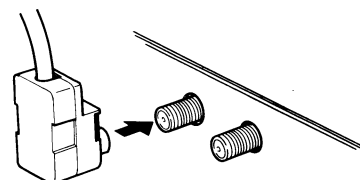
VHF用テレビアンテナのケーブルを本機のアンテナ端子に接続するときに使用します。

●アンテナケーブルが同軸ケーブルの場合

①F型プラグアダプターのツメを内側に押してキャップをはずします。

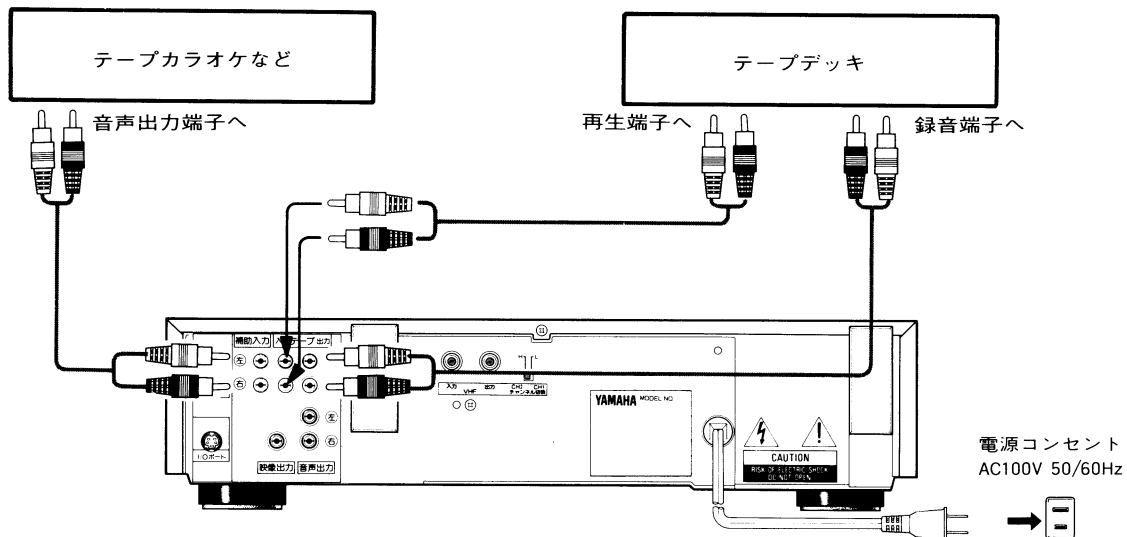


■F型プラグアダプターを本機のVHF入力端子にしっかりと差し込みます。



外部機器の接続のしかた

- テープカラオケなど外部機器を本機に接続しておきますと、本機の入力切換スイッチを切り換えるだけで、いろいろなソースでカラオケができます。またデジタルサラウンドもお楽しみいただけます。



●外部機器を再生するときは

- テープ端子に接続した機器を再生するときは、本機の入力切換スイッチの「テープ」を押します。
- 補助入力端子に接続した機器を再生するときは、本機の入力切換スイッチの「補助入力」を押します。

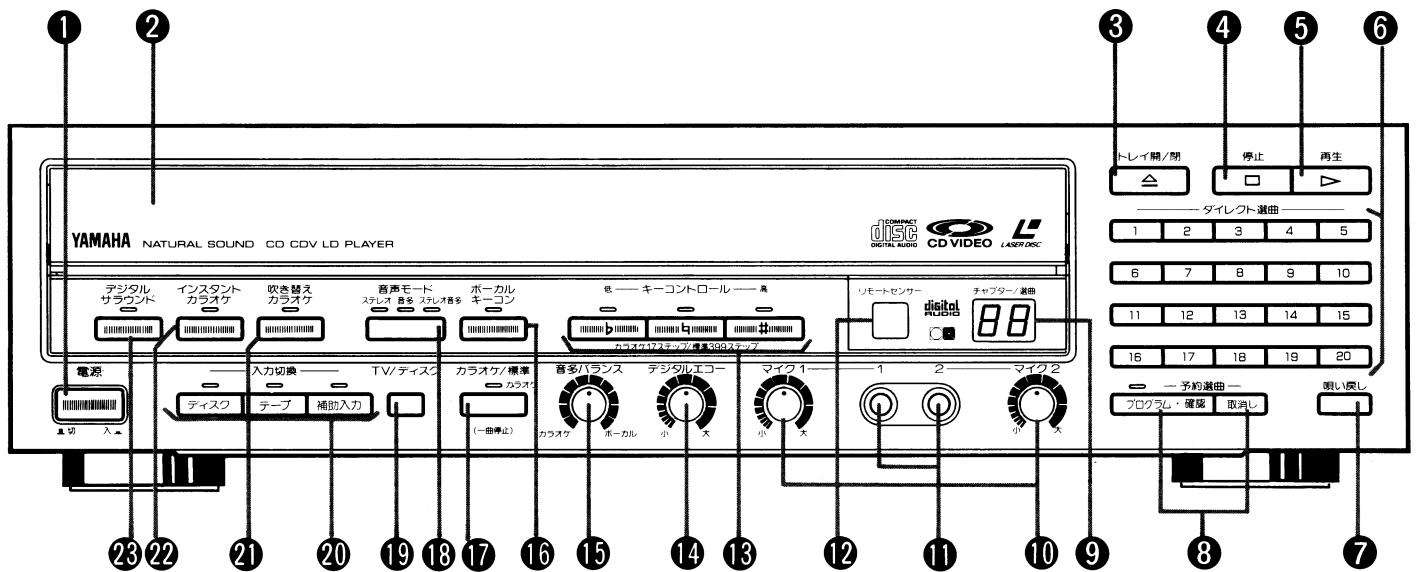
■設置場所について

本機を発熱をとまうアンプなどの上に積み重ねたり、通気性の悪いラックなどに入れて使用されますと、ディスクや本機に悪い影響を与えますので通気の良い場所に設置してください。また、本機の上にも物を載せないでください。

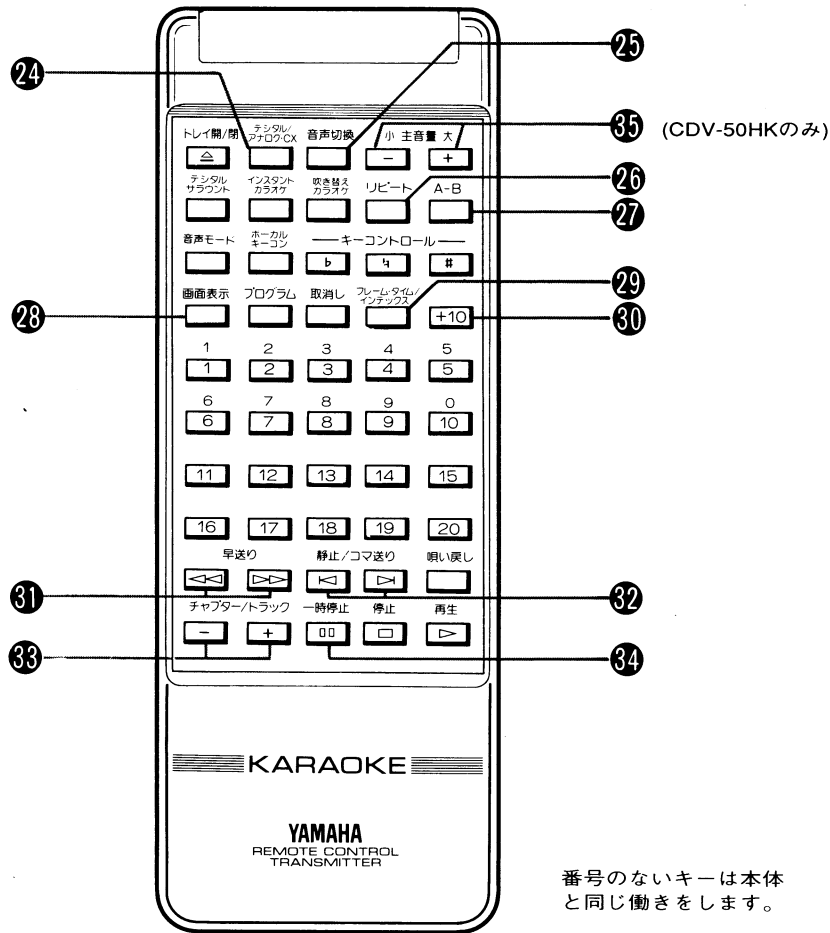
■スピーカー、テレビ、チューナーの設置

- 本機の上にテレビ（カラーモニター）を設置しないでください。また、テレビ（カラーモニター）の上に本機を設置しないでください。
- テレビ（カラーモニター）はスピーカーの磁気の影響を受けないよう離して設置してください。
- FM・AM放送を受信しているとき、本機の電源が入っていると受信音に雑音が入る場合があります。また、テレビ放送を見ているときに画面にシマ模様ができる場合があります。本機を使用しないときには電源を切っておいてください。

フロントパネルとリモコン各部の名称と働き



- 1 電源スイッチ**
 押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。
- 2 ディスクトレイ**
 ディスクをセットするところです。トレイ開/閉キーを押すと開き、もう一度押すと閉まります。ディスクトレイは手で軽く押ししても、再生キーやダイレクト選曲キーなどを押ししても閉じることができます。
- 3 トレイ開/閉キー**
 ディスクトレイを開閉するキーです。演奏中に押しますと、演奏はストップしディスクトレイが開きます。
- 4 停止キー**
 押すと演奏が停止します。
- 5 再生キー**
 押すと演奏がスタートします。
- 6 ダイレクト選曲キー**
 演奏したい曲（チャプター/トラック）を選ぶキーです。
- 7 唄い戻しキー**
 一度押すと約5秒前の画面（演奏）に戻り、そこから演奏します。複数回押ししますと、回数×約5秒例、3回押しすと約15秒前に戻り、そこから演奏します。
 ●再生中の曲の頭まで戻ると、それ以上は戻りません。
- 8 予約選曲キー**
 プログラムキー: ダイレクト選曲キーと組み合わせて最大15曲まで予約選曲ができます。また予約した曲の内容を確認したり、変更するときにも押します。
 取消しキー: 予約選曲を取り消すキーです。
 ●予約および取消しはプログラム画面を表示しているときのみ可能です。
- 9 チャプター/選曲ナンバーディスプレイ**
 演奏中の曲（チャプター/トラック）のナンバーを表示します。またキーコントロールでキー(音程)を変えたときもステップを約4秒間表示します。
- 10 マイク1,2音量ツマミ**
 マイクジャック1および2に接続したマイクの音量を調整します。右に回すとマイクの音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。
- 11 マイクジャック1,2**
 マイクを接続するジャックです。2本までマイクが使えます。
- 12 リモコンセンサー窓**
 付属のリモコンからのコントロール信号（赤外線）を受光するところです。
- 13 キーコントロールスイッチ**
 # (シャープ:高): ●カラオケモードのときは、標準のキー(音程)から8ステップで約2音までキーを上げることができます。
 ●標準モードのときは、+199ステップで約1音までキーを上げることができます。
 ●#を下げるときはbを押します。
 ♮ (ナチュラル:標準): 押すと変更していたキーを標準に戻します。
 ♭ (フラット:低): ●カラオケモードのときは、標準のキー(音程)から8ステップで約2音までキーを下げるすることができます。
 ●標準モードのときは、-199ステップで約1音までキーを下げるすることができます。
 ●bを上げるときは#を押します。



- 選択されたキーはインジケーターが点灯します。
- カラオケモードのときは一曲の演奏が終わりますと、設定していたキーは自動的に標準 (b) に戻ります。

14 デジタルエコー調整ツマミ

マイクの音のエコー効果を調整します。
右に回すほど効果が大きくなり、左に回すほど小さくなります。

15 音多バランス調整ツマミ

音声多重カラオケディスク再生時は、ツマミを右に回すとボーカル中心の再生音となり、中央では演奏とボーカルのミックス、左に回しますとカラオケ演奏になります。

16 ボーカルキーコン

このキーとキーコントロールの#またはbを押しますとマイクで唄う声のキーを変えることができます。
bで普通の声に戻ります。

17 カラオケ/標準切替スイッチ

再生モードをカラオケ演奏(一曲停止) ↔ 標準再生に切り換えるスイッチです。
カラオケモードのときは、インジケーターが点灯します。

18 音声モード切替スイッチ

カラオケモードのときに、再生する音声モードを選択するスイッチです。
モードは再生するディスク(デジタル音声付き音声多重カラオケディスク、音声多重カラオケディスク)の種類と目的に合わせて選びます。

19 TV/ディスク切替スイッチ

テレビとRF接続(→9ページ)しているときに、テレビの画面を、本機の再生かテレビ放送の受信かに切り換えるスイッチです。

20 入力切替スイッチ

カラオケの音楽の種類を本機のディスク演奏か、リアパネルのテープ端子や、補助入力端子につないだ機器(カラオケカセットデッキや8トラックテーププレーヤー等)の演奏かを選ぶスイッチです。

21 吹き替えカラオケキー

このキーを押しますと(インジケーターが点灯)マイクで歌ったときだけ、ディスクに録音されている歌手の声を消して自分の声になります。
吹き替えカラオケをやめるときは、もう一度押します。

フロントパネルとリモコン各部の名称と働き

22 インスタントカラオケキー

ボーカル入りの普通のディスクの演奏時にこのキーを押しますと（インジケーターが点灯）、ボーカル部分だけが消えますので、カラオケができます。インスタントカラオケをやめるときは、もう一度押します。

23 デジタルサラウンド

このスイッチを押しますと（インジケーターが点灯）、演奏に奥行きのあるサラウンド効果が加わり、ホールで歌う感覚が味わえます。（標準再生時も使えます。）デジタルサラウンドをやめるときは、もう一度押します。

■ リモコン

（以下のキーはリモコンのみ装備しています。）

24 デジタル／アナログ・CXキー

ディスクのなかにはデジタル音声とアナログ音声の両方で音声記録され再生時に音声を選択できるものがあります。その選択をするキーです。（→24ページ）またCXノイズリダクションをマニュアルでオン・オフするディスクの場合は、このキーでオン・オフにします。（→24ページ）

25 音声切換キー

再生する音声をステレオ、両チャンネルともにL信号あるいは両チャンネルともR信号に設定するキーです。キーを押すごとにステレオから1/L-CH→2/R-CHの順に切り換わります。

- 電源を入れたときはステレオに設定されます。
- カラオケモードでは、音声モード切換スイッチがステレオに設定されているときだけ、音声切換をすることができます。

26 リピートキー

繰り返し再生をするとき押します。
カラオケモード: REP ONE(一曲の繰り返し)
標準モード : REP ONE(1チャプター／トラックの繰り返し)
REP ALL(ディスク片面の繰り返し)
REP OFFで繰り返し再生を中止します。

27 A-Bキー

A-Bリピート(任意の2点間の繰り返し)をさせるとき押します。

28 画面表示キー

画面にLDナンバー、フレームナンバー、タイムナンバー、チャプターナンバー、トラックナンバーなど種々の表示をさせるときに押します。ディスクの種類により表示される内容は異なります。（→23ページ）

29 フレーム・タイム／インデックスキー

フレームナンバーサーチ(→26ページ)や、タイムナンバーサーチ(→26ページ)、インデックスサーチ(→28ページ)をするときに押します。

30 +10キー

チャプター／トラックナンバーが21以上の曲を選曲するときに使います。
例: 43曲目を選曲するときは+10を4回押し、次に3を押しします。

31 早送りキー

▶▶:再生中に早送りするキーです。
◀◀:再生中に早戻しするキーです。

32 静止／コマ送りキー

▶: CAV/標準ディスクを再生中に、正方向に静止画／コマ送り再生を行うキーです。
1回押しますと画面は静止し、その後は押すたびに1コマずつ送られます。
◀: CAV/標準ディスクを再生中に、逆方向に静止画／コマ送り再生を行うキーです。
1回押しますと画面は静止し、その後は押すたびに1コマずつ送られます。
●CLV/長時間ディスクでは静止画・コマ送り再生はできません。

33 チャプター／トラックキー

十: 再生中に押しますと、次のチャプター／トラックの頭出しをして再生し、もう一度押しますと、その次のチャプター／トラックの頭出しをして再生します。
一: 再生中に押しますと、現在のチャプター／トラックの頭出しをして再生し、もう一度押しますと、その前のチャプター／トラックの頭出しをして再生します。
●プログラム再生時（プログラム画面を消しているときは）、次のプログラム曲に進めたり、前のプログラム曲に戻したりすることができます。
●一時停止中や、停止中にも頭出しをすることができます。

34 一時停止キー

一度押しますと一時停止し、もう一度押しますと再生を再開します。

35 主音量キー（CDV-50HKに付属のリモコンのみ）

CDV-50HKのリモコン端子の接続をしているときは“大”のキーを押しますと、専用アンプの音量が大きくなり、“小”のキーを押しますと小さくなります。

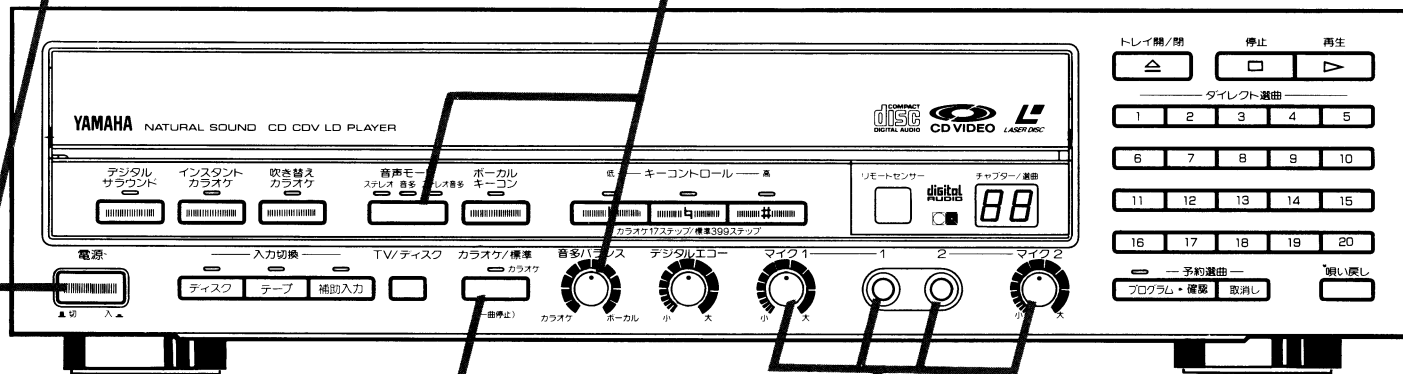
カラオケの準備

1 電源を入れます。

- システムの他の機器の電源も入れます。
- “チャプター/選曲”や他のインジケータが点灯します。

3 音声モードスイッチ、音多バランスつまみを操作します。

(下表を参照してください)



2 カラオケモードにします。

インジケータが点灯し、画面は緑色表示になります。

4 ツマミを“小”にして、マイクを差し込みます。

■ディスクと音声モードスイッチのセットについて

音声モードスイッチ (注1)	ディスク		
	ステレオ	音多	ステレオ音多
デジタル音声多重 マルチオーディオディスク	ステレオ 演奏	演奏+ボーカル	ステレオ演奏 +ボーカル
音声多重ディスク	*	演奏+ボーカル	*
CD音声多重 カラオケディスク	演奏+ボーカル	演奏+ボーカル	*

⇒ デジタル音声、アナログ音声の選択ができます。(注2)

- *：設定できません。
- 注2：電源投入時はデジタル音声を優先して演奏します。それ以外は前に演奏していたモード（デジタルまたはアナログ）に従って演奏されます。
- 一部のディスクでは音声の記録方式が異なることがあります。
- 12cmCDVはCDディスクと同じです。

↓
音声出力が切り
換えられます。
(→5ページ)

↓
音多バランスつまみが働
きます(注3)

■音声モードスイッチを切り換えると(注1)

- 音多マルチオーディオディスク：ステレオ音多にしますとステレオ演奏をバックにボーカルが出ます。音多バランスつまみが働きます。
- 音多ディスク：切り換えはできません。
- CDカラオケ：音多にしますと音多バランスつまみが働きます。ステレオ音多はできません。

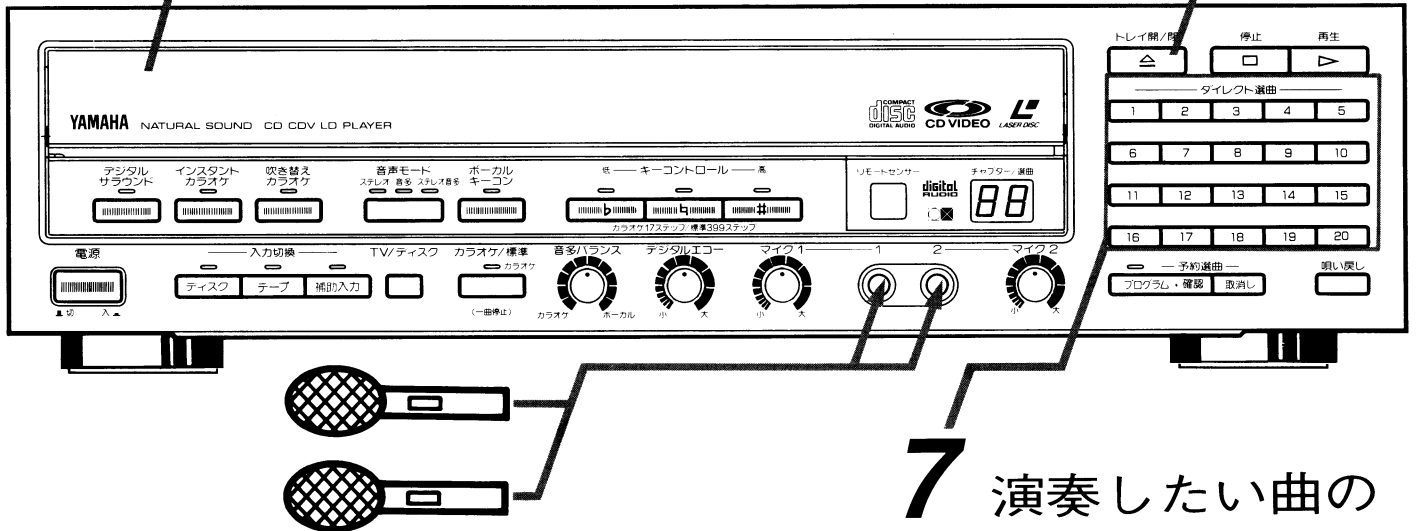
■音多バランスつまみについて(注3)

音声多重ディスクの場合は、このつまみで演奏とボーカルの音量バランスを調整することができますので、新曲のマスターなど、練習に便利です。

カラオケのしかた

5 **トレイ開/閉** を押します。

6 カラオケディスクをセットします。

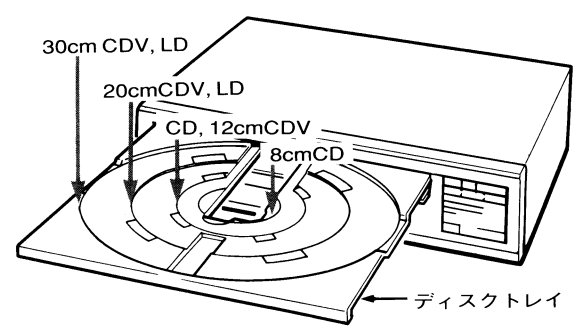


7 演奏したい曲の **曲番** を押します。

8 一曲の演奏が終わりますと、自動的に次の曲の頭で一時停止になります。(予約選曲演奏時は次の予約曲の頭で一時停止状態になります)

ディスクのセットについて

- 演奏するレーベル面を上側にして、ディスクトレイに乗せます。
 片面が不透明なアクリル樹脂製のディスクの場合は、ラベル面(アクリル樹脂側)を上向きに、キラキラ光る側を下向きにセットしてください。逆向きにセットすると故障の原因となります。
- ディスクはディスクトレイ内のディスクガイド表示に従って正しい位置に乗せてください。
 誤ってずれたままトレイを閉めた場合は、速やかにトレイを開き、セットしなおしてください。ずれたまま再生しますと、ディスクを傷めるだけでなく、本体の故障の原因ともなる場合があります。
- 本機は8cmCD (CDシングル) も20cmLDもアダプター無しで再生することができます。



- ディスクトレイは手で無理に開閉しないでください。
- 一度にセットできるディスクは1枚です。LDとCDVやCDを重ねてセットしますと、ディスクを傷つけたり、本機の故障の原因になりますので、絶対におやめください。またディスクトレイにはディスク以外のものをセットしないでください。
- 引きだしたままのディスクトレイに強い力(特に上下方向)を加えますと本機の故障の原因になります。また本機が落下する危険もあります。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリをさけるために、ディスクトレイは必ず閉めておいてください。

ご注意

- 再生中は本機を動かさないでください。
 再生中、ディスクは高速で回転をしています。このとき本機を持ち上げたり動かしたりしますと、ディスクを傷つける恐れがあります。本機を移動するときは必ず再生を止め、ディスクを取り出してください。

■選曲のしかた

A：ダイレクト選曲の **曲番** キーを押します。

●曲番が21以上の曲を選ぶときは、リモコンの **+10** を使います。

例：曲番30は **+10** を2回押してから、**10**を押します。
曲番35は **+10** を3回押してから、**5**を押します。

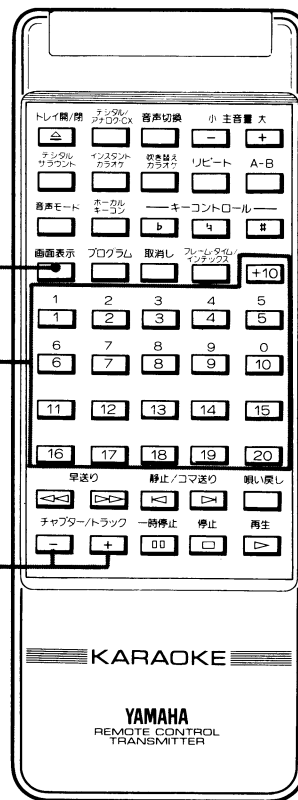
B：チャプター／トラックキーで選曲するには **R**

● **チャプター／トラック** の(+)または、(-)を押し、希望のチャプター／トラックナンバーを表示させます。(停止中に選曲したときは、次に**再生**を押します。)

C：カラオケ予約選曲をする。(次ページをご参照ください)

■演奏中のディスクの状態を知りたいときは

リモコンの **画面表示** を押しますと、画面に演奏中のチャプターナンバー、演奏経過時間などが表示されます。画面表示についての詳細は23ページをご参照ください。

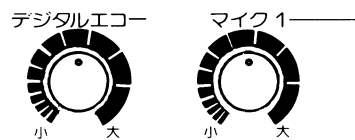


音量、エコーの調節は

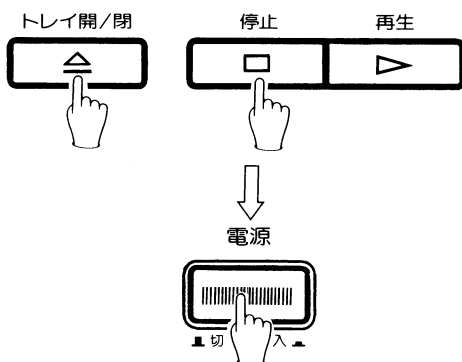
全体の音量は接続しているアンプのボリュームで、マイクの音量やエコーの効かせ具合は本機のマイク音量ツマミ、デジタルエコーツマミで調整してください。

●ハウリング(キーンという音)が出るときは

- ①マイクの音量を下げる、②マイクの向きを変える、③全体の音量を下げる、④マイクとスピーカーの距離を離すようにしますと、ハウリングを防ぐことができます。



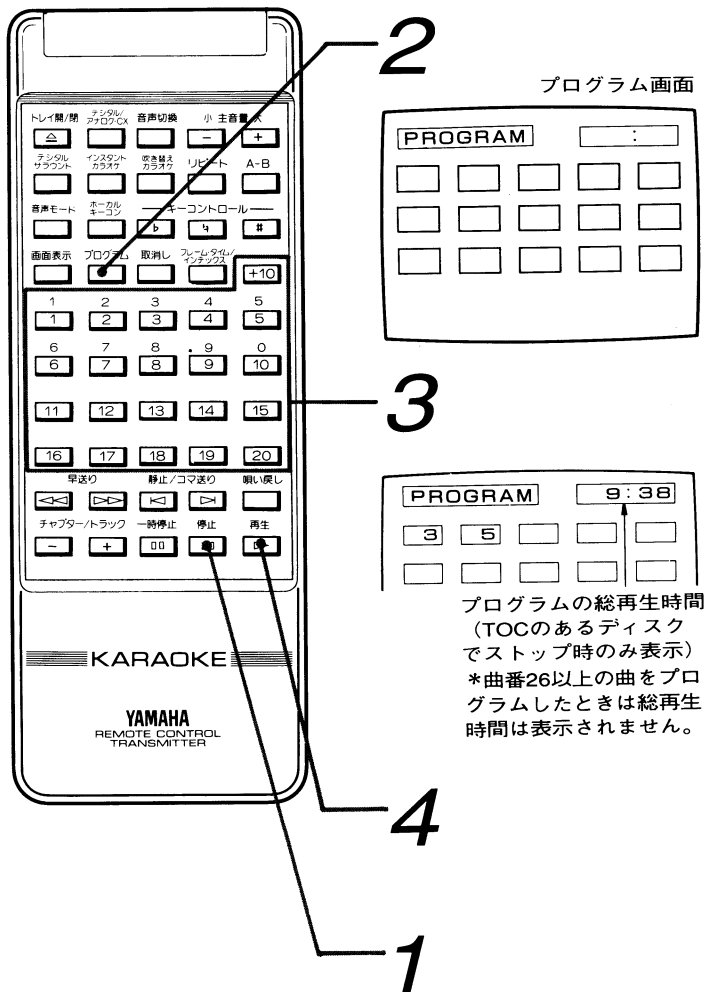
カラオケを終えるときは



- ① **停止** を押します。
- ② **トレイ開/閉** を押しますと、ディスクトレイが開きます。ディスクを取り出し、**トレイ開/閉** を押してディスクトレイを閉めます。
- ③ **電源** を押します。

カラオケに便利な機能について

■カラオケ予約選曲 (プログラム)



セットしたディスクの中から15曲までをお好みの順番で演奏することができます。
カラオケプログラム演奏は一曲演奏するごとにポーズ状態になります。

- 1 最初に **停止** を押します。
- 2 **予約選曲プログラム** を押します。
●プログラム画面が表示されます。
- 3 ダイレクト選曲の **曲番** キーを演奏したい曲順に押します。
●プログラム入力や変更は演奏中でもすることができます。
- 4 **再生** を押します。
●一曲の演奏が終わるとプログラムの次の曲の頭でポーズ状態になります。次の曲を演奏するときはその都度 **再生** を押します。
●プログラム演奏中（プログラム画面を消しているとき）にリモコンのチャプター／トラックキーを使いますと、プログラムの中で、次に曲に進めたり、前の曲に戻したりすることができます。
●ディスクトレイを開閉したり、電源を切りますとカラオケ予約選曲は解除されます。

演奏中にも予約選曲ができます

上記2. 3.の操作をします。（この場合は **停止** を押す必要はありません。）
現在演奏中の曲が終了してから **再生** を押します。

●プログラムを確認するときは

プログラム を押しますと演奏中でもプログラム画面を表示させることができますので、いつでも確認することができます。確認後は **プログラム** をもう一度押しプログラム画面を消します。

●プログラムを変更するときは

- ① **プログラム** を押し、プログラム画面を表示させます。
- ② **取消し** を押すごとにプログラムの最後の曲から順にプログラム番号が消灯します。変更したい曲を消したあとあらためて **曲番** キーを押してプログラムをしなおしてください。
- ③ **プログラム** を押してプログラム画面を消します。

●プログラムを追加するときは

- ① **プログラム** を押し、プログラム画面を表示させます。
- ② ダイレクト選曲の **曲番** キーを押しますと、その曲はプログラムの最後に追加されます。
- ③ **プログラム** を押してプログラム画面を消します。

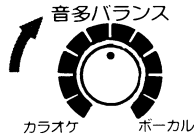
●プログラム演奏中に他の曲を割り込ませたいときは

プログラム画面が消えているときにダイレクト選曲の **曲番** キーを押しますと、あとから押した曲番の演奏に変わります。その曲の演奏が終わりますと、次のプログラム曲の頭で一時停止状態になります。

吹き替えカラオケ

演奏のボーカル部分が、マイクで歌ったときだけ、マイクの声に切り替わりますので、例えばデュエット曲の練習などに便利です。

- ボーカル入りのディスクをご使用ください。
- 音声多重ディスクの場合はボーカルが出るように音多バランスツマミを調整してください。



インスタントカラオケ

カラオケ用ではない普通のディスクでも、このスイッチを入れますとボーカル部分の音をおさえて、カラオケディスクとして使うことができます。

- モノラルディスクではインスタントカラオケはできません。ステレオ録音のディスクをお使いください。
- ディスクによってはボーカルが少し残る場合があります。



吹き替えカラオケとインスタントカラオケ時の音声モードについて

ディスク	音声モードスイッチ		
	ステレオ	音多	ステレオ音多
デジタル音声多重カラオケディスク	○	◎	○
音声多重ディスク	*	◎	*
CDカラオケディスク	ボーカルが両chから出ます。	◎	*
ステレオディスク	◎	ボーカルのキャンセルはできません。	*

◎：自動設定または最適ポジション
○：使用可能ポジション
*：設定できません。

唄い戻し



演奏中に **唄い戻し** を押しますと、演奏は約5秒前に戻り、そこから演奏を続けます。唄い出しに失敗したときなどに便利です。

続けて押しますと、約5秒単位で順に前に戻ります。

* TOCのないCAV/標準ディスクなど、一部のディスクでは戻る秒数が少なかったり戻らないことがあります。

キーコントロール

伴奏のキー（音程）が合わないときはキーコントロールを使って音程を合わせてください。

標準のキーから高低約2音までそれぞれ±8段階、調整することができます。

伴奏のキーを高くしたいときは：**#** を押します。

伴奏のキーを低くしたいときは：**b** を押します。

- キーを標準に戻すときは：**h** を押します。
- カラオケモードでは1曲の演奏が終わりますとキーは標準（**h**）に戻ります。



ボーカルキーコン

ボーカルキーコンのキーを押してから（インジケーターが点灯）、キーコントロールを使いますと、マイクの声が高くしたり低くしたりすることができます。パーティーの司会やひょうきんカラオケに活用してください。

声を高くするときは：**#** を押します。

声を低くするときは：**b** を押します。

元の声に戻すときは：**h** を押します。

- ボーカルキーコンと演奏のキーコントロールの同時使用はできません。ボーカルキーコンが優先します。

- マイクを使用中にボーカルキーコンを押しますと、マイクの音は約2秒間途切れます。これは、クリック音を発生させないためのもので、故障ではありません。



リピート演奏 **R**

再生中に「リピート」を押しますと、画面に“REP ONE”が表示され、その曲をリピート(繰り返し)演奏します。

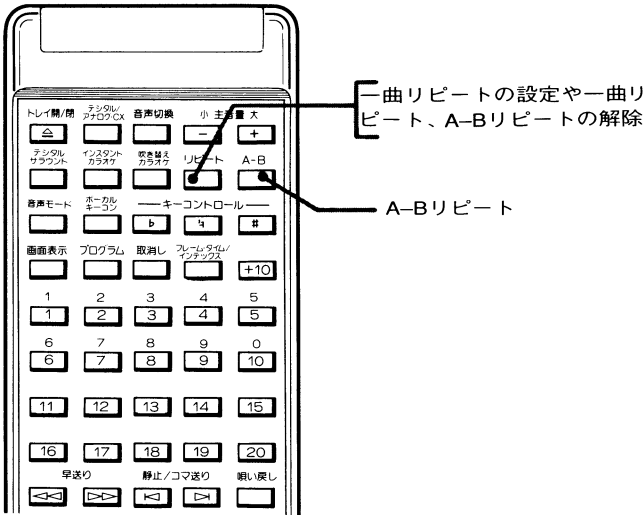
- リピートを止めるときは、もう一度「リピート」を押して“REP OFF”を表示させます。
- カラオケモードではディスク片面の全曲リピート(REP ALL)はできません。

A-Bリピート

あるフレーズを繰り返し練習するときにはA-Bリピートが便利です。

演奏中の繰り返しを始める箇所と、終わる箇所それぞれ「A-B」を押しますと、キーを押した2箇所の間をリピート演奏します。

- A-Bリピートをやめるときは「リピート」を押して“REP OFF”を表示させます。



デジタルサラウンド

このスイッチを入れますとサラウンド効果により、演奏に奥行きと広がりが増えますので、ステージで歌っているような雰囲気に入ることができます。

- 本機の音声出力端子をステレオ再生できる機器に接続していませんとサラウンド効果はうすくなります。
- 音楽によってはフラッターエコー状態になることがありますが、故障ではありません。



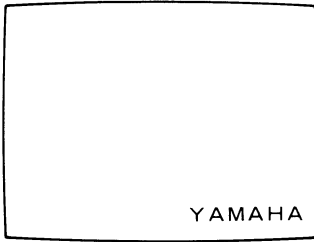
外部機器の演奏のしかた

- 1 本機および再生する機器の電源を入れます。
- 2 入力切換スイッチを再生する機器に合わせて押します。(インジケーターが点灯します)
- 3 外部機器の演奏の種類に従って音声モードスイッチを切り換えます。

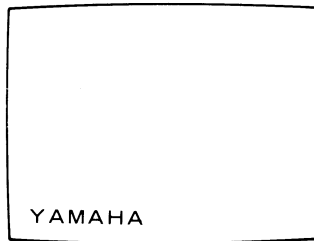
- 演奏がステレオの場合：ステレオにします。
(音多バランスツマミは働きません)
- 演奏が音声多重の場合：音多にします。
音多バランスツマミが使えます。
- 外部機器の演奏ではステレオ音多は使えません。

1 本機および接続した各機器(テレビ等)の電源を入れます。

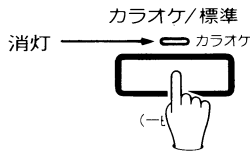
初期画面 (標準再生時: ブルー画面)



初期画面(カラオケ演奏時: グリーン画面)



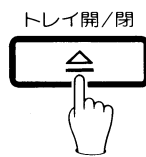
2 カラオケ/標準切換スイッチで標準モードにします。



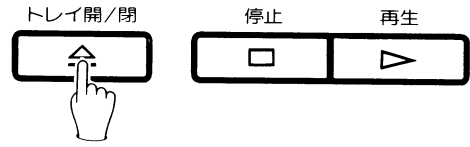
- カラオケインジケータが消えているときに標準モードです。画面は上記1のブルー画面になります。
- 標準モードでは常にステレオモードになりますので、音多モードスイッチおよび音多バランスツマミは働きません。またインスタントカラオケ、吹き替えカラオケもできません。

3 **トレイ開/閉** を押しディスクトレイを開け、ディスクをセットします。

- ディスクのセットのしかたは16ページをご参照ください。
- 再生したいレーベル面を上側にしてセットします。
- 12cmCDV、CDの信号は片面だけに記録されています。レーベル面を上にしてセットしてください。



4 **トレイ開/閉** または **再生** を押します。トレイが閉まり、ディスクの最初から再生が自動的にスタートします。



- ディスクトレイは手で軽く押しでも閉まります。
- 12cmCDVはビデオパートから再生します。
- ダイレクト選曲の**曲番**キーを押しますと、選んだチャプター/トラックから自動的に再生がスタートします。
- デジタルサラウンド**を押しますと、デジタルサラウンド再生をすることができます。

5 ディスク片面の再生が終了しますとストップ状態になります。

- 12cmCDVはビデオパートの再生が終わりますとオーディオパートのトラック1の再生に移り、オーディオパートの再生が終了しますとストップします。

■キーコントロールについて

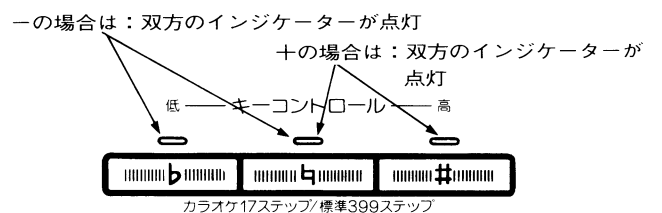
標準モード再生時は、再生されるキー(音程)を標準のキーから上下各約1音まで調整することができます。**#** または **b** を押すごとに約1セント(1/200音)づつ199ステップの微調整をすることができますので、ディスクに合わせて楽器などを演奏するときに便利な機能です。

キー(音程)をあげるときは:**#**を押します。インジケータが点灯します。

キー(音程)をさげるときは:**b**を押します。インジケータが点灯します。

標準のキー(音程)に戻すときは:**□**を押します。インジケータが点灯します。

- チャプター/選曲ナンバーディスプレイの表示について
キーコントロール操作後約4秒間は画面表示とともに、チャプター/選曲ナンバーディスプレイもステップを表示します。±100ステップを越えた場合は下記のような表示をします。

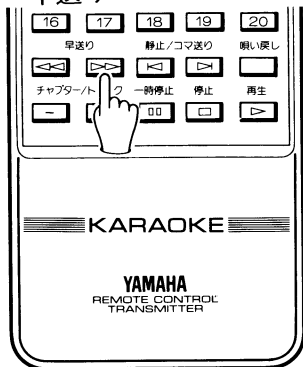


早送り・早戻しについて

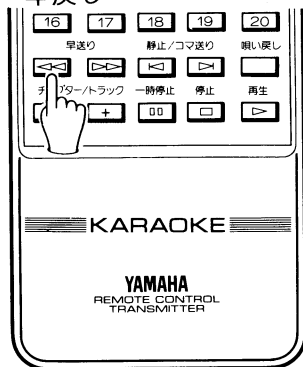
R

リモコンの**早送り**(▶▶、◀◀)を押しますと再生したいところまで早送り▶▶、早戻し◀◀をすることができます。押し初めの3秒間は中速で、その後は高速で早送り・早戻しになります。

・早送り



・早戻し



- 一時停止中も早送り・早戻しをすることができますが、停止中はできません。
- 20cm・30cmCDVやLDおよび12cmCDVのビデオパートで早送り・早戻しをしますと音声は消えます。
- CLV/長時間ディスクでは画像が乱れることがあります。

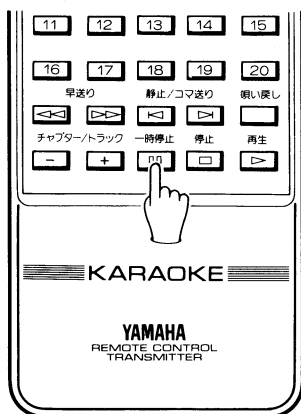
一時停止するには

R

一時停止を押します。

音声/映像はその位置で一時停止します。(ディスクは回転を続けています)

- 再生を再開するときはもう一度**一時停止**を押すか、**再生**を押します。



■ピクチャーストップについて

ピクチャーストップコードの記録されているLDディスクを再生しますと、コードで指定されているフレーム(画面)まで再生しますと自動的に静止画になります。

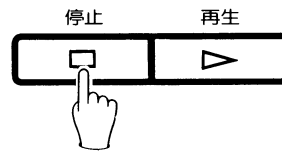
その場合は**再生**や**静止/コマ送り**を押して画面を次のステップに進めたり、前のステップに戻すことができます。

- ピクチャーストップの詳細についてはディスクの説明書をご参照ください。

再生を止めるには…停止

停止を押します。ストップ状態になり、ディスクの回転は停止します。

再生を押しますとディスクの頭から再生します。(12cmCDVはビデオパートから再生します)



フレーム・タイム/インデックスを押してから(20cm・30cmCDV、LDは1回、12cmCDV、CDは2回)**再生**を押しますと、さきほど**停止**を押してストップさせた位置から再生をスタートすることができます。

*プログラム再生時はできません。

再生を終えるときは

トレイ開/閉を押します。

ディスクトレイが完全に開いてからディスクを取り出し、再び**トレイ開/閉**を押してトレイを閉めてから**電源**を押して電源を切ります。

テレビ放送を見るときは

■AV入力端子付きのテレビの場合は
(8ページの接続例Aの場合は)

- ①テレビ側でテレビ放送受信に切り換えます。
詳細はテレビの取扱説明書をご参照ください。
- ②本機の電源を切ります。

■AV入力端子の無いテレビの場合は
(9ページの接続例B, Cの場合は)

- ①本体の**TV/ディスク**を押します。
- ②テレビで見たいチャンネルを選びます。
 - VHFアンテナからのテレビ電波は本機を経由してテレビに送られます。
 - ディスクを再生中にテレビ放送に切り換えた場合は、画面はテレビに切り替わっていますがディスクは回転を続けています。長時間テレビ放送をご覧になる場合は、ディスクを取り出し本機の電源を切ってください。

ご注意

放送の電波の弱い地域では、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、画面にシマ模様ができることがあります。これは故障ではありません。このようなときは、本機の電源を切ってください。

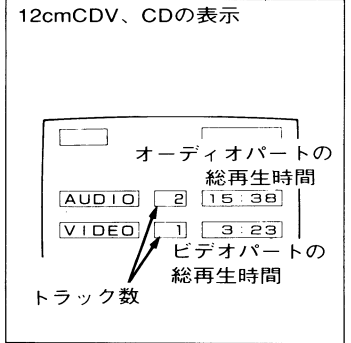
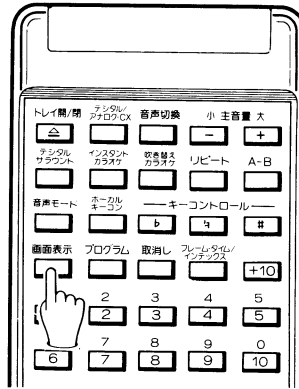
音声や画面表示の切り換えについて

R のマークはリモコンでのみ操作できる機能を示します。

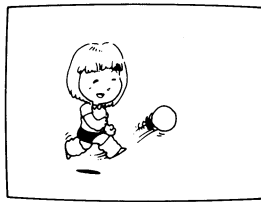
画面表示の切替について

R

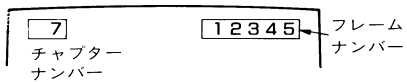
画面表示 を押しますとディスクの再生状態を示す情報を画面に表示させることができます。



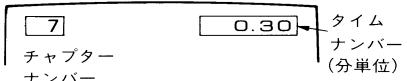
20cm・30cmLD



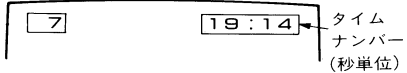
CAV/標準ディスクの場合、チャプターとフレームナンバーが表示されます。



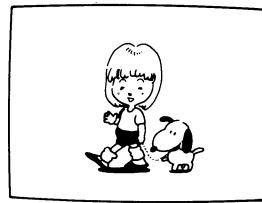
CLV/長時間ディスクの場合、チャプターとタイムナンバーが表示されます。



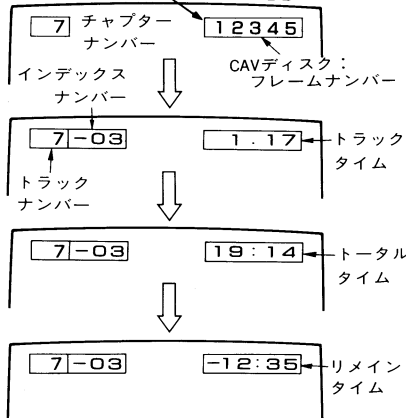
または



20cm・30cmCDV
(TOCのあるLD)



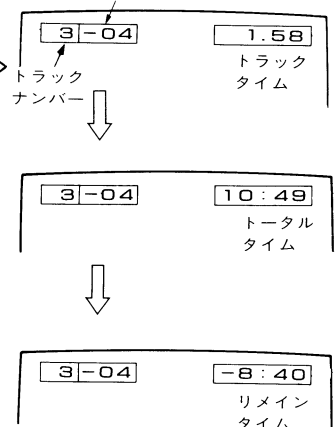
CLVディスク：タイムナンバー
LDタイム



12cmCDV, CD



インデックスナンバー



メモ

チャプターナンバー (CAV,CLVディスク)

ディスクプログラムの区切りを示します。書物における“章”番号に相当します。

●ディスクの中にはチャプターナンバーの記録されていないディスクもあります。

フレームナンバー (CAVディスク)

ディスクプログラムの始めから1つ1つの画面に連続して付けられている番号です。書物における“ページ”に相当します。

タイムナンバー (CLVディスク)

ディスクの頭からの再生経過時間の表示です。ディスクによって分単位のもの秒単位のものがあります。

LDタイム

ディスクの映像部の再生経過時間表示です。

トラックタイム

チャプター／トラックごとの再生経過時間表示です。

トータルタイム

ディスクの頭からの再生経過時間表示です。

リメインタイム

ディスクの再生残り時間表示です。

●ディスクの中にはチャプターとトラックの両方が記録されているディスクがあります。

(通常チャプターは“0”から記録されトラックは“1”から記録されています。このようなディスクにトラック1を指定しますとチャプター0から再生されます)

●トラックタイム、トータルタイム、リメインタイムが表示されるのはTOCのあるディスクに限ります。

●12cmCDVのトータルタイム、リメインタイムはビデオパート、オーディオパートの各パートごとの表示です。

プログラム演奏中の画面表示について

●20cm・30cmCDV,LDはプログラム画面と同時に表示できるのはLDタイムのみです。

●12cmCDV,CDはプログラム演奏中はトラックタイムのみ表示します。**画面表示** は動きません。

音声や画面表示の切り換えについて

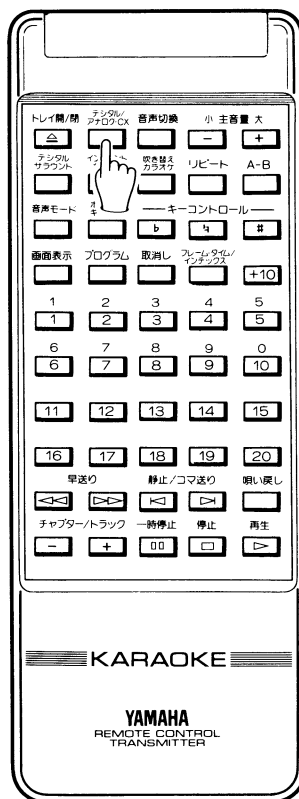
デジタル／アナログ音声切換について

R

20cm, 30cm CDVやLDディスクの中には音声デジタルとアナログの両方で記録され、再生時に音声を選択できるものがあります。(ディスクのジャケットの記載をご確認ください)

本機はこのようなディスクを再生するときは、**デジタル／アナログ・CX**で音声を選択することができます。アナログ音声を選択するときは画面に“ANALOG”を表示させ、デジタル音声を選択するときは、もう一度キーを押して画面に“DIGITAL”を表示させます。

- 本機のデジタル／アナログ音声自動選択機能について
 - ・アナログ音声のみのディスクは自動的にアナログに設定されます。
 - ・デジタル音声のみのディスクは自動的にデジタルに設定されます。
 - ・デジタル／アナログの選択は、電源投入時はデジタルを優先しますが、それ以外は、その前に再生していたディスクの選択状態を維持します。従ってデジタル／アナログの両方で記録されているディスクをセットしますと、その前のディスクがアナログの場合はアナログ音声、CDのようにデジタルのときはデジタル音声自動的に選択されます。



CX NRについて

20cm, 30cm CDVやLDディスクのなかには マークの記載されたものがあります。このマークはそのディスクのアナログ音声CX NR (CXノイズリダクション) を使って音声記録されていることを示しています。CX NRはS/N比を向上させ、ダイナミックレンジを拡大しますので、雑音の少ない迫力ある再生音を生み出します。本機はCX NRディスクを再生しますとそれを検知し、自動的にCX NRシステムが働きます。また一部のディスクではCX NR自動検出コードを持っていないディス

クがあります。そのようなディスクを再生する場合は、**デジタル／アナログ・CX**を押して本機のCX NRシステムをオンにしてください。

- CX NRが自動的に検出できるディスクの場合、CX NRをオン／オフすることはできません。
- CX NRで記録されていないディスクの場合にこのキーを押しますと、画面には“CX OFF”が表示されます。
- はCBSの登録商標です。

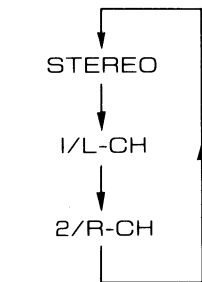
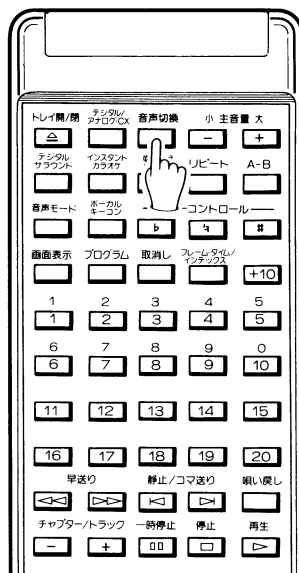
音声切換について

R

本機は電源を入れたときはステレオに設定されていますが、リモコンの**音声切換**を押すごとに、音声出力端子に出力される信号がステレオから1/L-ch→2/R-ch→ステレオ(1/L+2/R)の順に切り換わります。

音声多重ディスクやバイリンガルディスクを再生するときなど、必要に応じて切り換えてください。(→5ページ)

- ステレオ以外の音声で再生中は音声モード切替スイッチのステレオインジケータが消灯します。
- ディスクトレイを開閉しますと設定していた音声モードはすべてキャンセルされます。



循環して切り換わります

チャプター／トラックスキップ

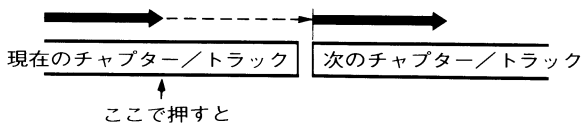
R

リモコンの **チャプター／トラック** (+ または -) を押しますと、次のチャプター／トラックの頭まで飛んで (スキップ) 再生をスタートしたり、再生中のチャプター／トラックの頭に戻って再生を再開したり、前の曲の頭から再生をすることができます。

- スキップ中は画像／音声は消えます。
- 一時停止中や停止時もスキップすることができます。
- プログラム再生中はプログラムされた曲の間でスキップすることができます。(プログラム画面の表示を消しているときに限ります)

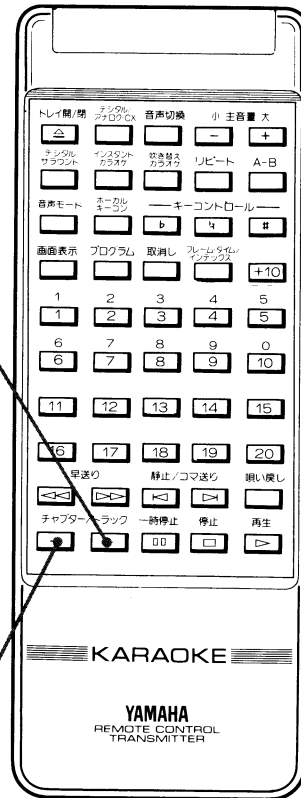
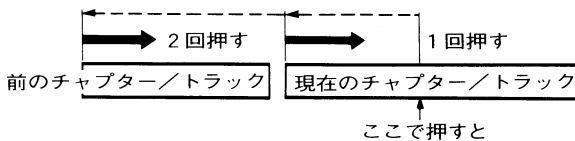
■ 次のチャプター／トラックの頭にスキップするときには **+** を押しします。

- 繰り返し押ししますと、押した回数だけスキップします。
- ディスクに記録されているチャプター／トラックナンバー以上にスキップすると・・・
20cm, 30cm CDV・LDは：END表示後ストップします。
12cmCDV, CDは：最後の曲が再生されます。



■ 再生中のチャプター／トラックの頭に戻って再生する場合は **-** を押しします。

- 一回押ししますと再生中のチャプター／トラックの頭に戻り、もう一度押ししますと一つ前のチャプター／トラックの頭に戻り再生します。
- 繰り返して押ししますと、ディスクの頭まで、押した回数分だけスキップします。



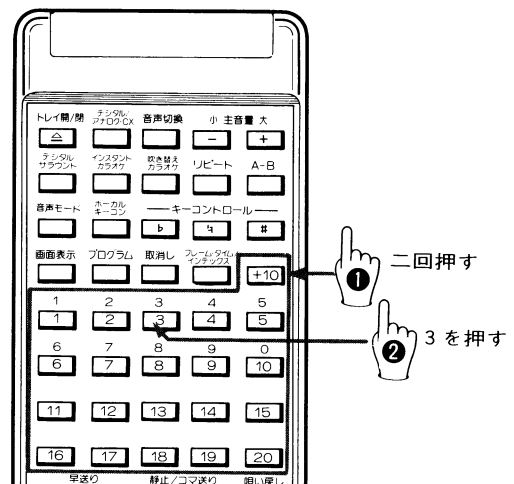
ディスクの途中から再生するには

ダイレクト選曲 (チャプター／トラックサーチ)

ダイレクト選曲の **曲番** キーを使いますと、再生したいチャプター／トラックを番号で直接指定することができます。

- 曲番が21以上のチャプター／トラックを指定する場合は **+10** を使います。
曲番30のときは **+10**、**+10**、**10** です。
- ディスクに記録されている以上のチャプター／トラックナンバーを指定しますとサーチ後“END”を表示しストップします。
12cm CDVでは“VIDEO END”表示後オーディオパートの再生に移ります。

例：チャプター23から再生するとき



フレームナンバーサーチ

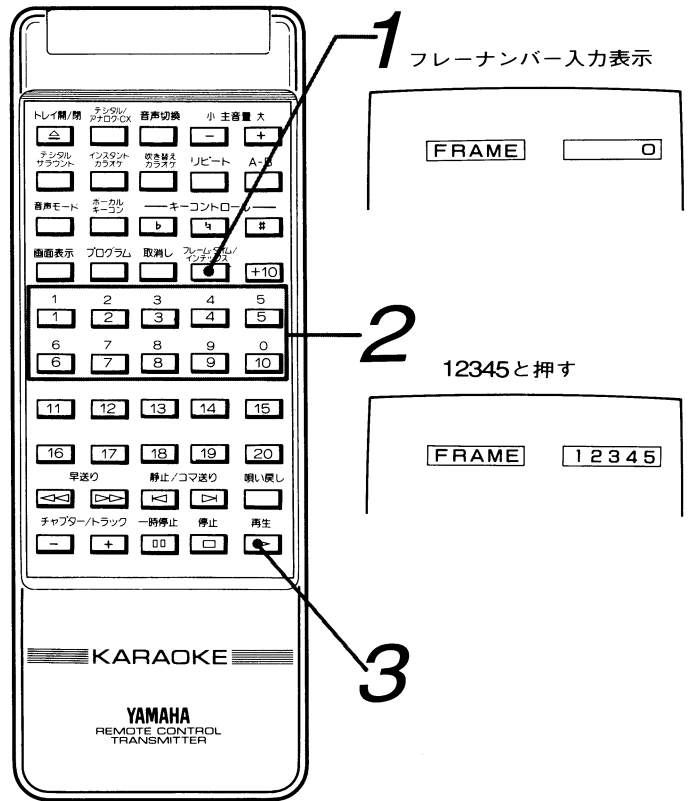
R

CAVディスクではフレームナンバーを指定して、そこから再生をスタートさせることができます。

●20cm・30cm CDVのCAVディスクは、**画面表示** を使ってフレームナンバー表示にします。

- 1 **フレーム・タイム/インデックス** を押し、画面にフレームナンバー入力表示を出します。
- 2 **曲番** キーの **1** から **0** を使ってフレームナンバーを指定します。
 - 2桁の曲番キーは使用できません。
 - フレームナンバーを変更するときは、**取消し** を押してから指定しなおします。また**取消し** を2回押すか、またはもう一度**フレーム・タイム/インデックス** を押しますとフレームナンバーサーチの入力をやめることができます。
- 3 **再生** を押します。
 - サーチ後、指定したフレームから再生がスタートします。
 - 再生** のかわりに**静止/コマ送り** を押しますとサーチ後は、そのフレームで静止します。
 - TOCのあるCDVディスクはタイムサーチをすることができます。次ページをご参照ください。

例：1 2 3 4 5 番のフレームから再生するとき



タイムナンバーサーチ

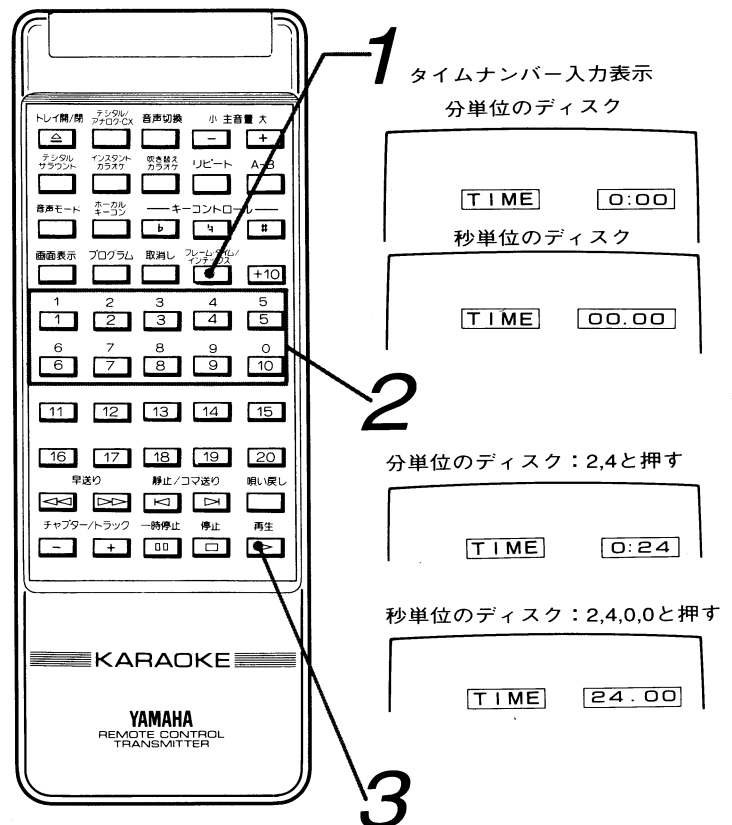
R

CLVディスクでは任意の時間を指定してそこから再生をスタートさせることができます。ディスクによっては時間表示が「分」単位のもの、「秒」単位のものがあります。「分」単位のディスクでは一分間隔、「秒」単位のディスクでは一秒間隔のタイムサーチができます。

●20cm・30cm CDVのCAVディスクは、**画面表示** を使ってタイムナンバー表示にします。

- 1 **フレーム・タイム/インデックス** を押し、画面にタイムナンバー入力表示を出します。
- 2 **曲番** キーの **1** から **0** を使ってタイムナンバーを指定します。
 - 2桁の曲番キーは使用できません。
 - タイムナンバーを変更するときは、**取消し** を押してから指定しなおします。また**取消し** を2回押す、またはもう一度**フレーム・タイム/インデックス** を押しますとタイムナンバーサーチの入力をやめることができます。
- 3 **再生** を押します。
 - サーチ後、指定したタイムナンバーから再生がスタートします。

例：ディスクの頭から24分の画面から再生するには



タイムサーチ



CDや20cm・30cm CDVディスクなどTOCのあるディスクではタイム情報を利用して各種のサーチ再生をすることができます。

●**画面表示**を押してもタイム表示されないディスクではタイムサーチはできません。

トラックタイムサーチ

指定したチャプター／トラックの指定した時間から再生をスタートさせることができます。

●指定したトラックタイムが、そのトラックに無い場合は次のトラックが再生されます。12cm CDVはオーディオパートの1曲目が再生されます。

トータルタイムサーチ

ディスクの頭からの再生経過時間を指定して、そこから再生をスタートさせることができます。

●12cm CDVでは・・・
ビデオパートを再生中は、ビデオパートの頭からのサーチになります。
ビデオパートとオーディオパートにまたがるサーチはできません。
オーディオパートの総再生時間をオーバーした時間を指定したときは、ストップします。

リメインタイムサーチ

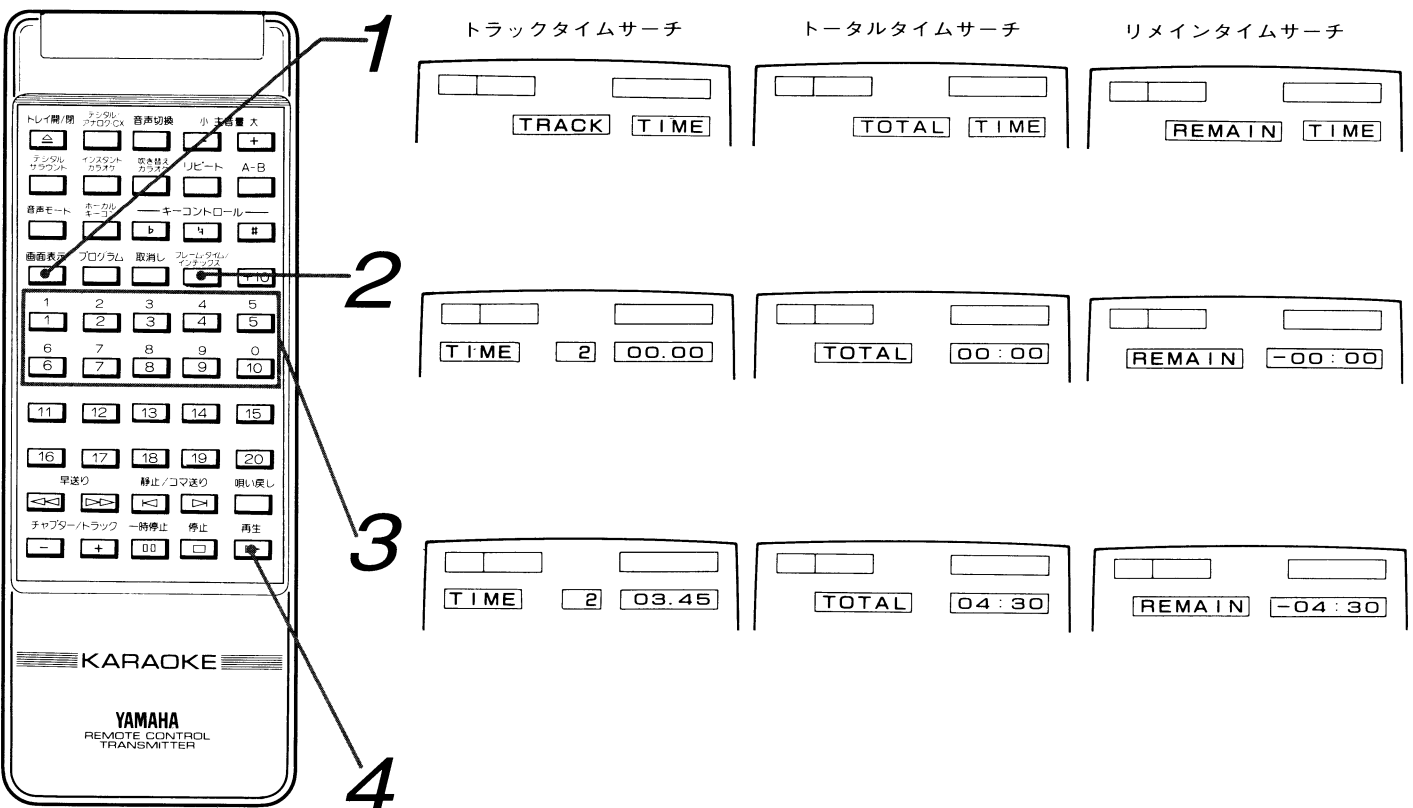
ディスクの再生残り時間を指定して、そこから再生をスタートさせることができます。

●12cm CDVではビデオパート、オーディオパートそれぞれのパート内でのサーチになります。

タイムサーチのしかた

●トラックタイムサーチをするときは、前もってサーチするトラックを**曲番**キーや**チャプター／トラック**で選んでください。

- 1 **画面表示** を押し、サーチするタイムモードを表示させます。
- 2 **フレーム・タイム／インデックス** を2回続けて押します。
- 3 **曲番** キーの **1** から **0** (橙色表示) を使ってサーチする時間を指定します。
●時間を変更するときは、**取消し** を押してから指定しなおします。
また**取消し** を2回押すまたはもう一度**フレーム・タイム／インデックス** を押しますとタイムサーチの入力をやめることができます。
- 4 **再生** を押します。
●指定した時間から再生がスタートします。



インデックスサーチ

R

●インデックスナンバーとは

クラシック音楽など、一つの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスというナンバーがつけられているディスクがあります。そのようなディスクはインデックス単位で再生をスタートさせることができます。

●インデックスナンバーが記録されているディスクには **IN:DEX** マークがディスクのジャケットに記載されています。お確かめください。

1 **曲番** や **チャプター/トラック** で再生するトラックを指定します。

2 **フレーム・タイム/インデックス** を押します。
●インデックスナンバーを変更するときは、**取消し** を押してから指定しなおします。
また **取消し** を2回押す、またはもう一度 **フレーム・タイム/インデックス** を押しますとインデックスサーチの入力をやめることができます。

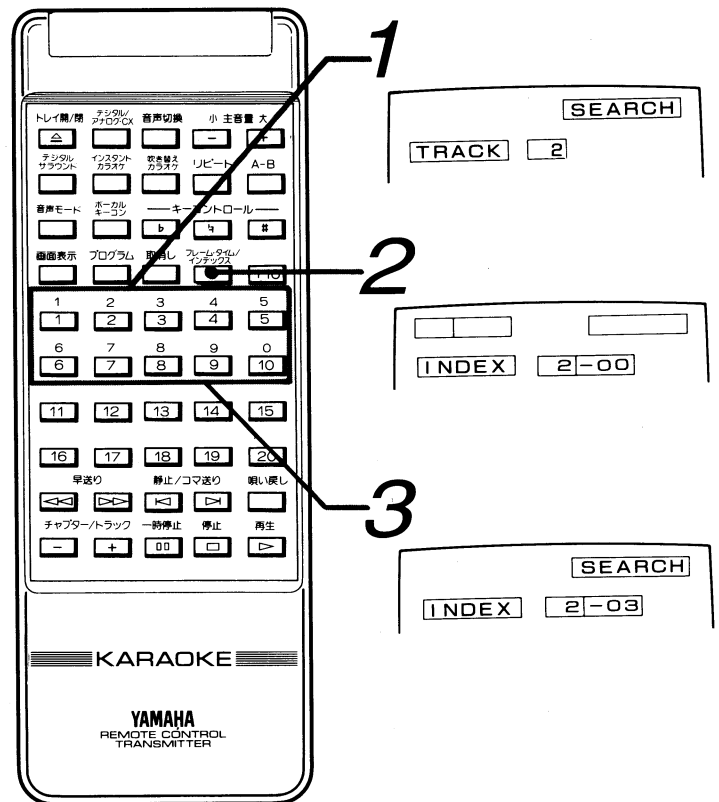
3 **曲番** キーを押して、インデックスナンバーを指定します。
●指定したインデックスから再生がスタートします。

●インデックスナンバーが記録されていないディスクに“2”以上のインデックスナンバーを指定したり、記録されている以上のインデックスナンバーを指定しますと、次のトラックを再生します。
また、12cmCDVのオーディオパートの最後のトラックに同様に指定をしますとストップします。

例：トラック2のインデックスナンバー3から再生するときは

1 曲目		2 曲目		
インデックス1	インデックス2	インデックス1	インデックス2	インデックス3
				→

ここから再生を始めたいとき



繰り返して再生するには リピート

R のマークはリモコンでのみ操作できる機能を示します。

ディスクの片面全部や一曲だけ、または指定した区間を繰り返して再生することができます。

一曲リピート

R

再生中にリモコンの **リピート** を押しますと、画面に“REP ONE”が表示され、その曲をリピート（繰り返し）再生します。

- 一曲リピートをやめるときは、**リピート** を押し、画面には“REP OFF”を表示させます。

全曲リピート

R

再生中にリモコンの **リピート** を2回押しますと、画面に“REP ALL”が表示され、ディスクの片面の全曲（チャプター／トラック）をリピート再生します。

- 全曲リピートをやめるときは、もう一度 **リピート** を押します。画面には“REP OFF”が表示されます。
- カラオケモード時は全曲リピートはできません。

A-Bリピート

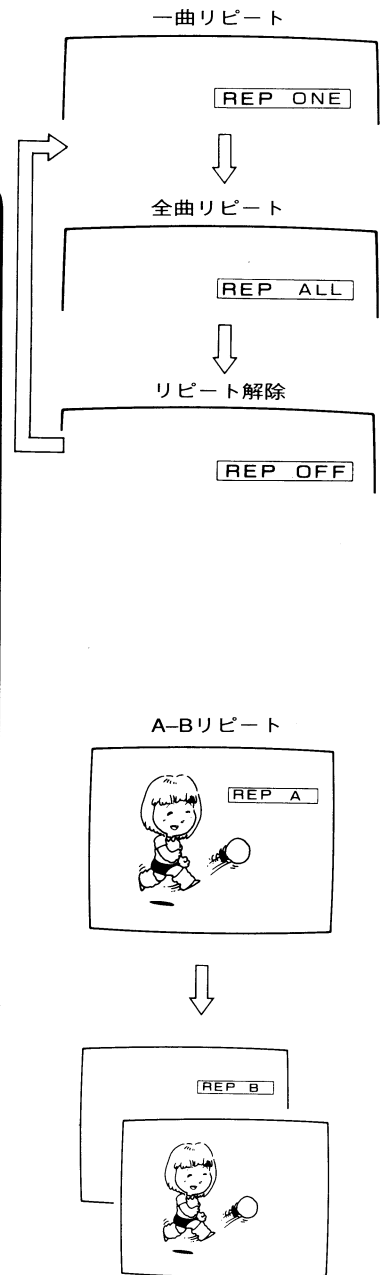
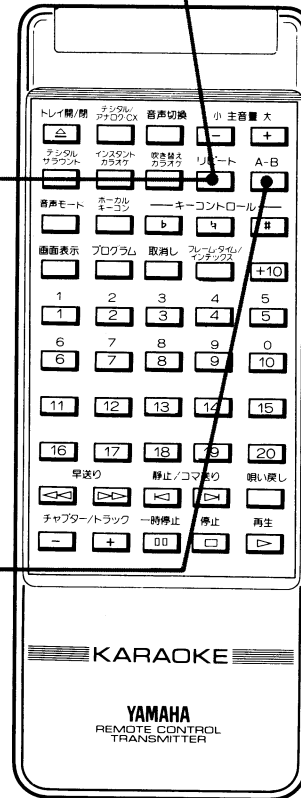
R

あるフレーズを繰り返したいときに便利です。

- ① 繰り返しを始めた箇所になりましたら **A-B** を一回押します。A点が指定されました。
 - ② 繰り返しを終えたい箇所になりましたら、もう一度 **A-B** を押します。
B点が指定されると同時に、再生はA点に戻りA-B間を繰り返し再生します。
- A-Bリピートをやめるときは、もう一度 **リピート** を押します。画面には“REP OFF”が表示されます。
 - 12cm CDVのオーディオパートとビデオパートにまたがるA-Bリピートはできません。

ご注意

ディスクトレイを開閉しますと一曲リピートおよびA-Bリピートは自動的に解除されますが、全曲リピートは解除されません。



セットしたディスクの中から15曲までをお好みの順番で再生することができます。

- ディスクをセットする前でもプログラムすることができますが、TOCのあるディスクの場合は、ディスクに無いチャプター／トラックナンバーは、ディスク情報を本機が読みとった時点で、プログラムから削除します。
- TOCの無いディスクの場合はプログラムからは削除されませんが、実際の再生では、ディスクに無い曲は飛び越して再生します。
- チャプター／トラックナンバーの記録されていないディスクではプログラムできません。

1 プログラムを押します。

- プログラム画面が表示されます。

2 ダイレクト選曲の曲番キーを再生したい順番に押します。

- プログラムは再生中にもすることができます。
- TOCのあるディスクの場合は、ストップ時のみ曲をプログラムするごとにプログラムの総再生時間が表示されますが、チャプター／トラックナンバーが26以上の曲をプログラムすると、総再生時間は表示されません。

3 再生を押します。

- プログラム再生中（プログラム画面を消しているとき）にリモコンのチャプター／トラック（+、-）を使いますとプログラムのなかで再生する曲を次に進めたり、前に戻したりすることができます。
- 停止を押しますと、再生中の曲はストップし、プログラム画面表示になります。
- ディスクトレイを開閉したり電源を切りますとプログラムは解除されます。

●プログラムを確認するときは

プログラムを押しますと、再生中でもプログラム画面が出ますので、いつでもプログラムの確認をすることができます。確認後はもう一度プログラムを押して、プログラム画面を消しておきます。

●プログラムを変更するときは

- ①プログラムを押し、プログラム画面を表示させます。
- ②取消しを押すごとにプログラムの最後の曲から順にプログラム番号が消されます。変更したい曲を消したあと曲番キーであらためてプログラムをしておいてください。

●プログラムに曲を追加するときは

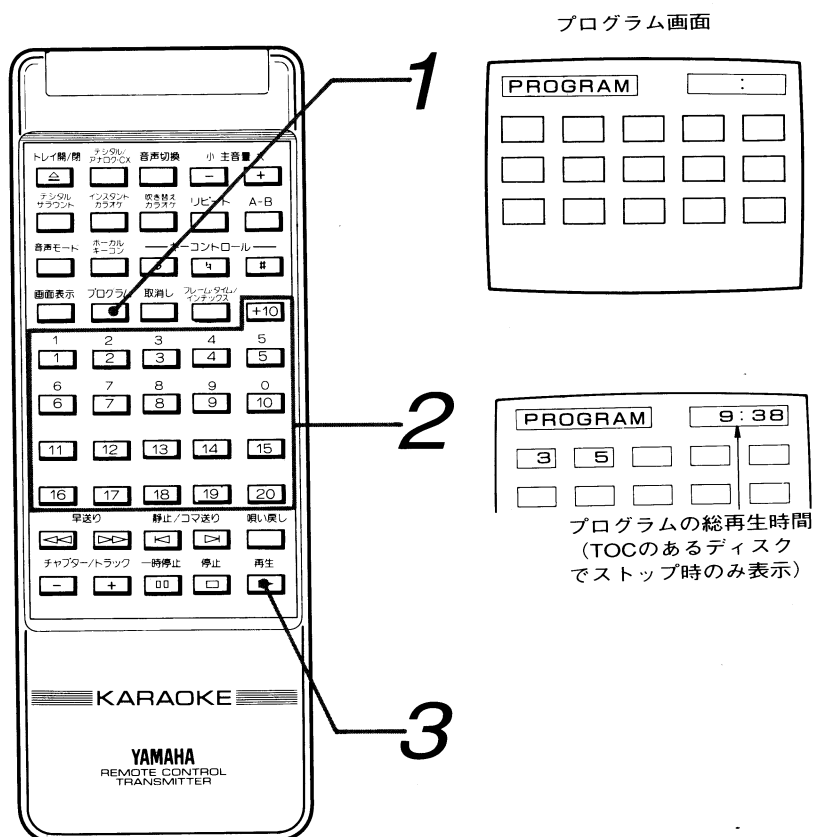
プログラム画面を表示中にダイレクト選曲の曲番キーを押しますと、その曲はプログラムの最後に追加されます。

●プログラム再生を止めるときは

プログラム画面のすべての曲番表示を取消しで消し、次にプログラムまたは取消しを押してプログラム画面表示を消します。

●プログラム再生中に他の曲を割り込ませたいときは

プログラム画面が消えているときに曲番キーを押しますと、あとから押した曲番の再生に移ります。その曲の再生が終わりますとプログラムに戻ります。



静止画／コマ再生のしかた

R のマークはリモコンでのみ操作できる機能を示します。

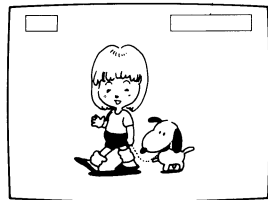
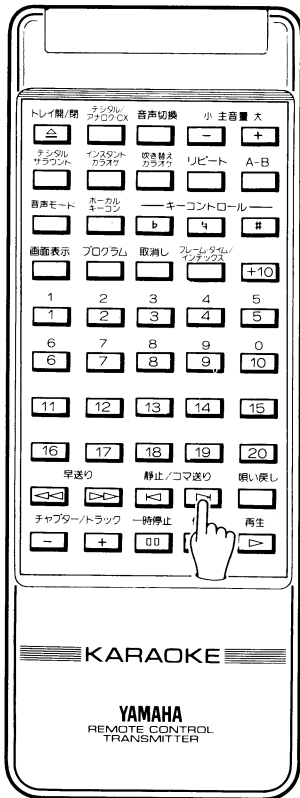
20cm・30cmCDVやLDのCAVディスクでは静止画再生やコマ送り再生をすることができます。

静止画再生

R

再生中に「**静止／コマ送り**」(◀または▶)を押しますと、映像が静止します。

- 静止画再生中は音声は出ません。
- 通常の再生に戻すときは「**再生**」を押します。



コマ送り再生

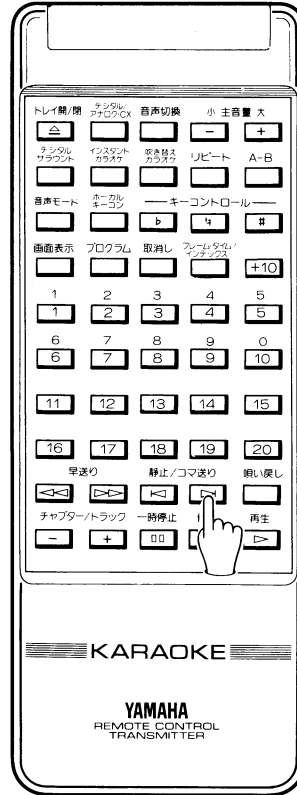
R

「順方向」

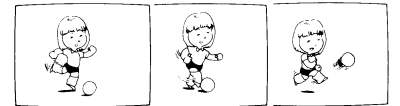
静止画にしたあと▶を押すたびに画面は順方向にコマ送りされます。

押し続けると連続的にコマ送りします。

- 音声は出ません。
- 通常の再生に戻すときは「**再生**」を押します。



順方向 →



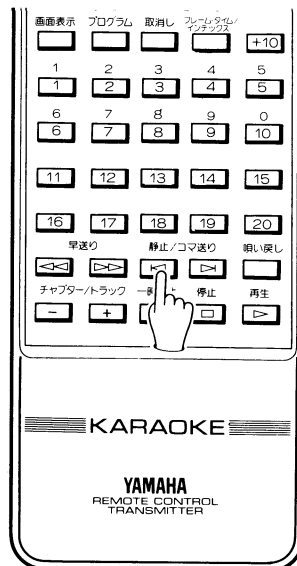
「逆方向」

静止画にしたあと◀を押すたびに画面は逆方向にコマ送りされます。

押し続けると連続的にコマ送りします。

- 音声は出ません。
- 通常の再生に戻すときは「**再生**」を押します。

- 静止画再生中にも早送り・早戻しができますので、見たい画面を探すときに便利です。



逆方向 →



静止画／コマ送り再生のしかた

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなるときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは、下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお問い合わせまたはサービスをご依頼ください。

カラオケ演奏時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
映像／音声がでない	・入力切換スイッチがディスクになっていない	・入力切換をディスクにする
音多バランスがきかない	・標準再生モードになっている ・CD、CDVをステレオで再生している	・カラオケにする ・音声モードを“音多”または“ステレオ音多”にする
ステレオ音多ができない	・音声モードをステレオで再生している ・ステレオ音多できないディスクを再生している	・“ステレオ音多”にする ・ステレオ音多ができるのはデジタルサウンドマルチオーディオディスクに限ります（→19ページの表参照）
インスタントカラオケができない	・モノラルディスクを再生している ・音声モードが“音多”になっている	・ステレオディスクを使ってください ・音声モードを“ステレオ”にする（→19ページの表参照）
吹き替えカラオケができない	・マイクの音量が小さい ・歌声が小さい	・マイク音量つまみを右に回す ・大きな声で歌う
キーコントロールができない	・ボーカルキーコンのインジケータが点灯している	・もう一度ボーカルキーコンを押しボーカルキーコンを解除する
音多ディスクのボーカルがでない	・インスタントカラオケモードになっている ・音多バランスつまみがカラオケ側になっている	・インスタントカラオケモードを解除する ・音多バランスつまみをボーカル側にする
予約選曲をすると違う曲（チャプター0またはトラック1）を演奏する	・最初に「停止」を押し忘れている	・カラオケ予約選曲は最初に「停止」を押してから予約選曲をしてください（→18ページ）

標準再生時（LD，CDV，CD共通）

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから外れている	・しっかり差し込んでください
ディスクトレイが出てきてしまう	・ディスクがひどく汚れている ・ディスクが変形（ソリなど）している ・ディスクを裏返しにセットしている（12cmCDV，CD）	・ディスクをクリーニングしてください ・矯正するとソリなどが軽減されることがあります ・レーベル面を上にしてセットしてください
リモコンで操作ができない	・リモコンの電池が消耗している ・リモコンの操作距離、角度が悪い	・電池を2本とも交換してください ・7m以内、角度30度以内で操作してください
リモコンを操作するとテレビが誤動作をする	・リモコン機能のあるテレビが本機の近くにある	・テレビと本機を離すか、テレビのリモコン窓を覆ってください
ブーンというハム音が出る	・接続コードのプラグの接続不良	・プラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズが入る	・本機とチューナーの設置場所が近い	・チューナーを遠ざけるか、本機の電源を切ってください

ビデオディスク再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクは回転しているが映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの電源が切れている ・接続が不完全 ・RF接続をしているとき（接続例B、C）に、TV/ディスクスイッチが“TV”になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ（モニターテレビ）の電源を入れてください ・接続しなおしてください（→8～11ページ） ・“ディスク”にしてください
画質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクがひどく汚れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニングしてください
画面が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクが変形（ソリなど）している 	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正するとソリが軽減されることがあります（→6ページ）
音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・入力切換が“ディスク”になっていない ・アンプやテレビのボリュームが絞られている ・接続が不完全 	<ul style="list-style-type: none"> ・“ディスク”にしてください ・アンプやテレビのボリュームをあげます ・接続を確認してください（→8～11ページ）
音声が不自然に聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> ・CXNRをオンにするように指示のあるディスクをオフのまま再生している 	<ul style="list-style-type: none"> ・CXNRをオンにします（→24ページ）
静止/コマ送り再生、フレームサーチができない	<ul style="list-style-type: none"> ・CLVディスクを再生している 	<ul style="list-style-type: none"> ・CLVディスクは静止/コマ送り再生、フレームサーチはできません（→26、31ページ）

12cmCDV再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
映像/音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクが裏返しにセットされている ・アンプ、テレビのボリュームが絞られている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください（→16ページ） ・テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量にします
A-Bリピートができない	<ul style="list-style-type: none"> ・A、Bの2点がオーディオパートとビデオパートにまたがっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・A-Bリピートはオーディオ、ビデオの各パート内で行ってください（→29ページ）
トラック1から再生しない	<ul style="list-style-type: none"> ・12cmCDVは必ずビデオパートから再生がスタートします（→16ページ） 	

CD再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクが裏返しにセットされている ・ディスクがひどく汚れている ・接続が不完全 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください（→16ページ） ・クリーニングしてください（→6ページ） ・正しく接続しなおしてください（→8～11ページ）

参考仕様

■型式

LD, CDV, CDフルコンパチブルプレーヤー
 ビデオ系：Philips-MCA方式に基ずく光学式ビデオディスクシステム
 方式 レーザービジョン方式
 信号形式 NTSC方式準拠
 再生可能ディスク LD：すべてのNTSCレーザービジョンディスク
 20cm・30cm標準ディスク (CAV)
 20cm・30cm長時間ディスク (CLV)
 CDV：12cm・20cm・30cmディスク
 CD：8cm・12cmディスク

■入・出力端子

アンテナ入力 VHF入力：VHF75Ω不平衡、F型ジャック
 RF出力 VHF出力：VHF1chまたは2ch切換方式
 75Ω不平衡、F型ジャック
 ビデオ出力 映像出力：1Vp-p (75Ω負荷時、同期負)
 ピンジャック
 オーディオ出力 音声出力 (左、右)
 : 200mVr.m.s. (1kHz、40%変調；アナログ)
 : 200mVr.m.s. (1kHz、-20dB；デジタル)
 ステレオピンジャック
 ●音声自動選択機能
 デジタル、アナログの両方で記録されたディスクでは、電源投入時はデジタルを優先します。他の場合は、設定されていた選択状況に従います。(前保持)
 テープ入力 入力感度/入力インピーダンス
 : 200mVr.m.s./50kΩ (出力200mVr.m.s.)
 許容入力：2Vr.m.s.
 周波数特性：20Hz～17kHz；+1, -3dB
 テープ出力 出力電圧/出力インピーダンス
 : 200mVr.m.s./1.1kΩ
 補助入力 入力感度/入力インピーダンス
 : 200mVr.m.s./50kΩ (出力200mVr.m.s.)
 許容入力：2Vr.m.s.
 周波数特性：20Hz～17kHz；+1, -3dB
 マイク入力 入力感度/インピーダンス
 : 0.74mVr.m.s./12kΩ (出力200mVr.m.s.)
 許容入力：21mVr.m.s. (オーディオ出力)
 リモコン出力 ミニジャック (CDV-50HKのみ)
 I/Oポート ミニDINジャック
 調整用端子です。使用できません。

■ビデオ信号

水平解像度 425本
 輝度信号S/N比 47dB

■オーディオ信号特性

周波数特性 20Hz～20kHz+0.5, -1.0dB (デジタル)
 S/N比 100dB (デジタル、IHF-A)
 70dB (アナログ、IHF-A)
 ダイナミックレンジ 90dB (デジタル)
 全高調波歪率 0.04% (1kHz 0dB, デジタル)
 チャンネルセパレーション 90dB (1kHz、デジタル)
 ディエンファシス偏差 ±0.5dB (デジタル)
 出力インピーダンス 1.1kΩ

■総合

電源 AC100V 50/60Hz
 消費電力 30W
 外形寸法 430 (W)×114 (H)×419 (D)
 重量 9kg (CDV-1800K)
 9kg (CDV-50HK)
 許容動作温度/湿度 5℃～35℃/0%～90% (結露のないこと)

■付属品

48キーリモコン (CDV-1800K)
 50キーリモコン (CDV-50HK)
 単3型乾電池×2
 音声ケーブル (CDV-1800K×1)
 (CDV-50HK×2)
 映像ケーブル×1

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんな楽しんで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社はレーザービションプレーヤーの補修用性能部品を製造打切り後8年間保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■お客様ご相談窓口

(ヤマハAV製品に対するお問い合わせ窓口)

本 社 〒430 浜松市中沢町10-1

A V機器事業部

お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お預かり窓口)

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL(011)513-5036

仙 台 〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(022)236-0249

東 京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル
TEL(03)255-2241

首都圏 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100

新 潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL(025)243-4321

松 本 〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F
TEL(0263)32-5930

浜 松 〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内
TEL(0534)65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ名古屋流通センター3F
TEL(052)652-2230

京 都 〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483第2マスイビル
TEL(075)361-6470

大 阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL(06)877-5262

神 戸 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内
TEL(078)321-1195

四 国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内
TEL(0878)22-3045

広 島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39
TEL(082)874-3787

九 州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

A V機器事業部

営業部 TEL(0534)60-3451

品質保証室 TEL(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

YAMAHA